

第35回 りんどう杯車いすバスケットボール

# 西日本大会

Wheelchair Basketball NISHI-NIPPON Tournament

## 感想文集



国内最大規模のアリーナで開催

2018

9/1日・2日

1日目 開会式 9:00 / 試合開始 10:00

2日目 試合開始 9:00

会場

久留米アリーナ

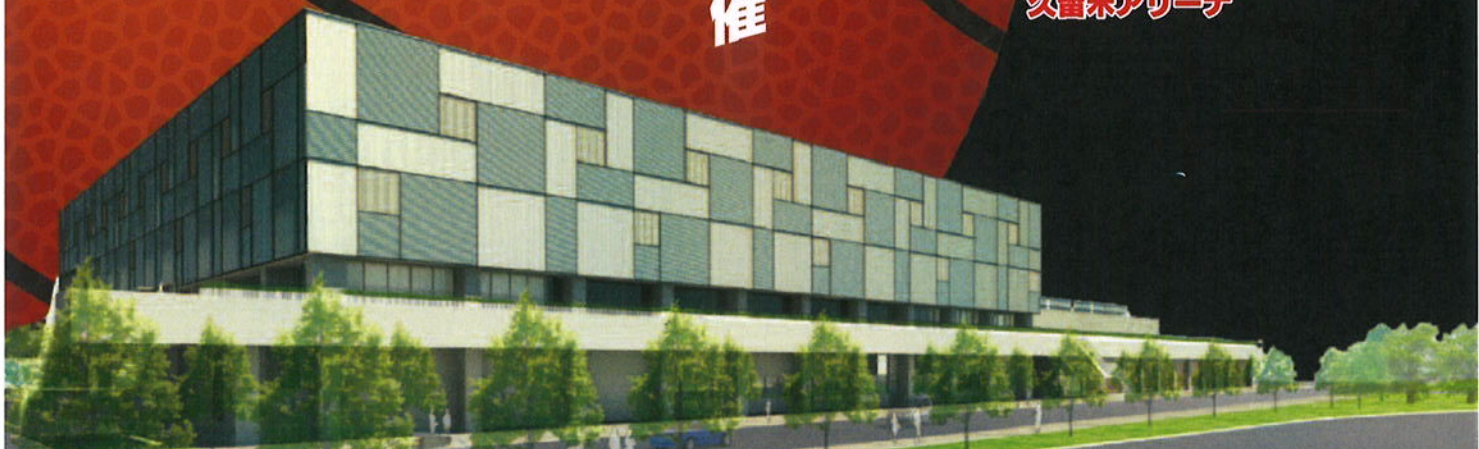
(久留米総合スポーツセンター)

福岡県久留米市東櫛原町170-1

ARENA



2018年春 全面リニューアル  
久留米総合スポーツセンター  
久留米アリーナ





2017 マイハビネス フォトコンテスト グランプリ作品「輝く夏の光」(姉桁 允法さま・岩手県)

花火が好きだった小さな頃を  
私は思い出していた。

目の前にいる私の家族。

子どもにも私にもやさしい妻。ふたりの子どもにも恵まれた。

私は鉄道の運転士で、夜間の勤務も多く、

子どもたちと過ごすのは何よりうれしい時間だ。

「花火しようか」子どもたちに、私は声をかけた。

娘は、自分の手で花火を持つのは初めて。

最初は怖がっていた彼女の表情が、変わっていく。

パパが言って聞かない時も、お兄ちゃんの言うことは聞く。

「さあ、いっしょに着替えようね」そう言って妹に接する。

そのやさしさは、誰から学んだのだろうか。

家族といっしょにいる。そのよろこびを私は噛みしめる。

しあわせは、いつもそばにいる。

人に一番やさしい生命保険会社へ。

明治安田生命

マイハビネス フォトコンテストや  
当社のさまざまな取組みを  
ご紹介しています。



明治安田生命公式 Facebookページ  
明治安田生命 Facebook 検索

ぜひ「いいね!」を押して最新の情報をチェックしてください。



明治安田生命公式  
LINEアカウント開設!

ぜひ「友だち」追加してください。



### 明治安田生命 久留米支社

〒830-0044 福岡県久留米市本町4-33 明治安田生命久留米本町ビル5F TEL 0942-34-7681

久留米営業所 久留米東町営業所 久留米本町営業所 大牟田北営業所 大牟田銀水営業所  
柳川営業所 八女営業所 筑後営業所 筑後小郡営業所 甘木営業部

# 目次

- 002 - 広告協賛
- 003 - 目次
- 004 - 試合風景
- 005 - 優勝チーム
- 006 - ごあいさつ  
久留米りんどうライオンズクラブ  
会長 中村 優子  
ちくご菜の花ライオンズクラブ  
会長 柴田 玲子
- 008 - 成績記録
- 009 - 選手からのメッセージ  
太陽の家スパーズ 宮本 晶  
ハガクレデンジャーズ 大内田 誠
- 011 - 江南中学校  
撮影写真・感想文
- 014 - 荒木中学校  
撮影写真・感想文
- 019 - 高牟礼中学校  
感想文
- 027 - 三潞中学校  
撮影写真・感想文
- 043 - 城島中学校  
撮影写真・感想文
- 057 - 城南中学校  
感想文
- 066 - 諏訪中学校  
撮影写真・感想文
- 079 - 青陵中学校  
撮影写真・感想文
- 090 - 筑邦西中学校  
撮影写真・感想文
- 104 - 田主丸中学校  
撮影写真・感想文
- 115 - 北野中学校  
撮影写真・感想文
- 118 - 牟田山中学校  
撮影写真
- 119 - 良山中学校  
撮影写真・感想文
- 128 - 屏水中学校  
撮影写真・感想文
- 131 - あとがき  
久留米りんどうライオンズクラブ  
社会福祉・青少年育成委員長 広瀬 泰博  
ちくご菜の花ライオンズクラブ  
車いす委員長 坂口ふみ子
- 132 - 主催・共催・後援・協賛・協力
- 133 - 広告協賛



激戦風景



激戦風景



子供達による「よさこい」応援



優勝 福岡breez



激戦風景



久留米りんどうライオンズクラブ  
会長 中村 優子

ごあいさつ

第35回りんどう杯車いすバスケットボール

西日本大会には、地元久留米をはじめ西日本

各地から16チームに参加いただきました。ち

くご菜の花ライオンズクラブ、久留米市、久

留米市教育委員会、久留米市バスケットボー

ル協会、久留米市体育協会の共催、5団体か

らの後援、協賛企業10社、地域の大勢の方々

に支えられて大会が無事終了しましたこと、

心より御礼申し上げます。

「失ったものを数えるな。残っているものを

最大限生かせ」というパラリンピックの創設

者ルートヴィッヒ・グットマン博士の言葉ど

おりにその持てる能力を最大限に生かして競

技される勇姿には感動を覚えずにはいられま

せんでした。本C Dの中学生の感想文、写真

からもそれをくみ取って頂き、来年に繋げた

と思います。 (平成30年10月吉日)

ちくご菜の花ライオンズクラブ  
会長 柴田 玲子

い あ い さ つ

第35回りんどう杯車いすバスケットボール  
西日本大会が無事に終了することが出来まし  
た。

今回は35周年という記念の大会でございます  
ので広域にわたり参加のお呼びかけを致しま  
したところ、西日本豪雨災害に見舞われまし  
た山口・広島県、また米子市のチームからも  
ご参加いただきましたことを心よりお礼申し  
上げます。

また、偏に皆様方のご支援とご協力の賜と  
心より感謝申し上げます。今年の猛暑の厳し  
いなか練習を続けられました選手の皆様を  
はじめ中学・高校の生徒さん達の応援やお手  
伝い、また合川小学校によるよさこい踊りな

どのご協力を頂き盛会なる西日本大会になり  
ました。

車いすがぶつかり合い、車いすが飛び上が  
るほどの迫力でゴールにたどり着く熱戦の感  
動を、写真や感想文として文集にいたしまし  
た。この感動が多くの皆様感じていただき  
事を願っております。

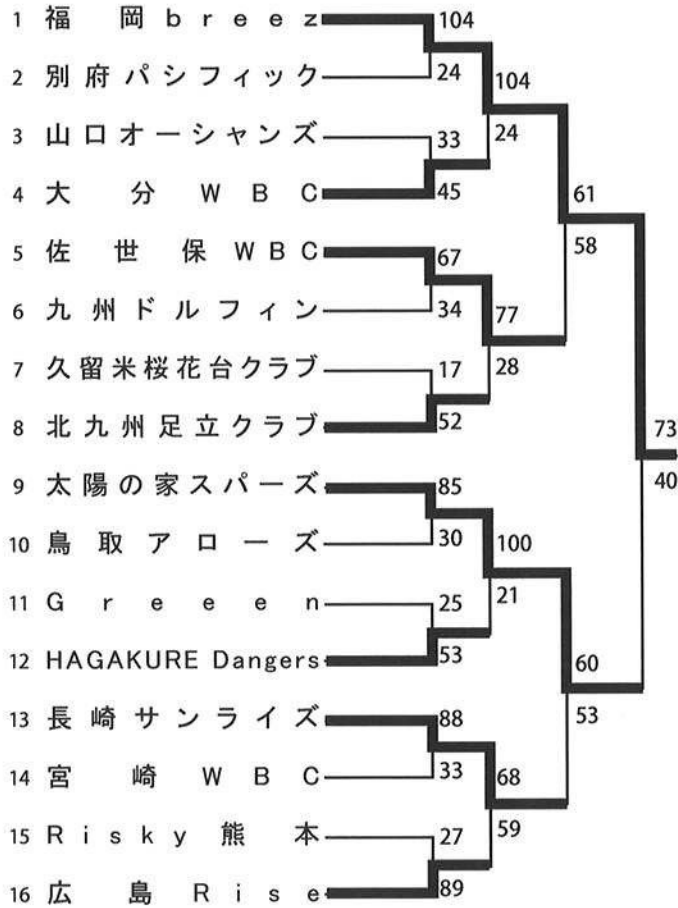
最後になりましたが関係各位、並びにご協  
賛企業の皆様のご協力によりこの車いすバス  
ケットボール大会が盛会裡に終了することが  
出来ました。

この大会が40回、50回と続きます事を祈念  
いたしました、ご挨拶と致します。

# 第 35 回りんどう杯車いすバスケットボール西日本大会 成績記録

期日:2018年9月1日(土)~9月2日(日)

会場:久留米アリーナ(久留米総合スポーツセンター)

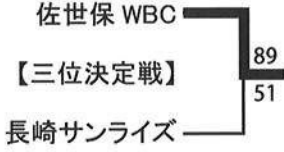


**【優勝】**  
**福岡 breez**

**【準優勝】**  
**太陽の家スパース**

**【第三位】**  
**佐世保 W B C**

**【敢闘賞】**  
**長崎サンライズ**





## 選手からのメッセージ

太陽の家 スパース 宮本 晶

車いすバスケットを始めた 十数年前、デビュー戦が りんどう杯でした。私にとってりんどう杯は、思い出深い大会です。

第35回大会は、新しく完成した国内最大規模の久留米アリーナで開催されることもありどのような場所で試合ができるのか？楽しみでした。

到着してみると非常に素晴らしい会場とたくさんの学生さんたちに応援していただき私も含め他の選手も いつも以上のプレーができたのではないかと思います。

また、毎年のようにレセプションを開催して

いただき 各チームとの交流が深められる場を提供していただき ありがとうございます。す。

これからもレセプションは継続していただければと思います。

来年もりんどう杯車いすバスケットボール西日本大会に参加できることを楽しみに練習に励み、今年以上の成績を残せるように頑張りたいと思います。

ライオンズクラブ様、協賛企業各社様、各学  
校関係様、審判団の皆さん  
ありがとうございました。

## 選手からのメッセージ

### ハガクレデンジャーズ 大内田 誠

第三十五回りんどう杯が開催されましたこ

今回の大会を通し課題もたくさん見つかりま

とを心からお祝い申し上げます。

した。来年はチームの成長を見せれたらと

今大会は新しい体育館、西日本大会と変わ

思っています。最後になりましたが、ライオ

り 参加チームも16チームと規模の大きい大

ンズクラブをはじめ御尽力くださった方々本

会となりました。

当に有難うございました。

りんどう杯は他の大会と違いたくさんの学生

来年も無事に久留米りんどう杯が開催され

の応援もあり楽しく参加をさせていただいて

ますことを楽しみにしています。

います。

# 【江南中学校】



宮崎 柊果



原 里萌音



高嶋宗史朗



藤田 開地

江南中  
宮崎 柁 果

九月一日土曜日に車イスバスケの観戦に行きました。初めて観戦しましたが、迫力があ  
り、また見てみたいと思えるようなスポーツ  
でした。

私が一番心に残っていて、印象的だった所  
は、選手がたおれてしまい、自分で起き上  
れそうになかった時に、すぐ近くにいた相手  
チームの人が助けていた所です。敵は敵でも、  
同じ車イスバスケトをしている仲間とし  
て、助け合っているのを見て、とても印象深  
かったです。

そして、ディフェンスをしているのを見て  
いると、車輪と車輪がぶつかり合っているこ  
とに気付きました。また、相手の方へ必死に  
回りこんでいた姿もとても印象的でした。パ  
ス回しの形等もしっかりしていたし、パスミ  
スも少なかったので、すごいと思いました。

そして、フリースローの入れ方もいろいろ  
ありましたが、体をななめにして投げ入れる  
ように入れていた所もすごいと思つたし、初  
めて見るおどろきがたくさんありました。

今回は、写真係としてプレー中の選手の様  
子をとらせていただきました。そこで、間近  
で観戦することができました。すると、プレー  
中に選手の人同士が、ドンマイ、ごめんね、

という会話をしていました。バスケをしてい  
くうえで、仲間とのつながりは大事なんだと  
改めて感じました。だから、これからプレー  
する中で大事にしていきたいと思いました。

そして、ベンチ側からの応援も大きかった  
ので、プレー中に元気が出たのではないかと  
思いました。自分たちのふだんの練習でも、  
声かけや応援をして、プレー中の人が少しで  
もがんばろうと思えるようにしたいと思いま  
した。

今回の車イスバスケを見て、一番強く感じ  
たことは「仲間とのつながり」です。敵は敵  
でも、車イスバスケをしている仲間としての  
つながりやプレー中の励ましあい、たくさん  
の大きな応援など、たくさんのつながりがな  
いとプレーが成り立たないことに気付けまし  
た。

このように、私もふだんの練習から仲間と  
のつながりを大事にしていきたいです。その  
ために、声かけや応援をがんばろうと思う良  
いきっかけになりました。これからは、今日  
見たことを忘れずに、つまずきそうになつて  
も仲間がいるという強みを感じながら、バス  
ケをしていこうと思いました。今日見たこと  
を生かして練習をがんばります。

## 江南中 堤 優 來

九月一日土曜日、第三十五回りんどう杯車いすバスケットボール西日本大会という大きな大会で、色々なことを学び、そして、貴重な体験をさせていただきました。

まずは、体験交流。

私は、初めて車いすバスケットを体験しました。最初は、たおれることや車いす同士がぶつかることさえも、とてもこわかったですが、徐々に慣れていくことができました。

シュートも沈めることができて、本当にうれしかったです。

こわいことをおそれては、なにも出来ないなと思いました。

しかし、車いすバスケットの選手は、私たち以上にぶつかっていたり、転んでいたりにいて、私は見ているだけでもとてもこわかったです。

そんなことがありながらも、選手の方たちは、こわいことをおそれずに前に進み、戦っているんだなと思うと、本当に強い人たちがたくさんいるんだなと感じました。

また、久留米桜花台クラブというチームには、私と同じ学校の子が二人います。

その内の一人は、私と同じ学年で、たまに話す機会があります。

その子は、バスケットがとても好きで、試合に出たいという思いが、きつと誰よりもあると思います。

しかし、車いすなしでは生活が難しく、階段を上り下りするので精一杯。  
ましてや、バスケットをするのはとてもきついだろ

うと思います。

ただ、バスケットが好きで気持ちはとても強いので、足が不自由でも、なにかあっても、誰でもできる車いすバスケットを、去年くらいから初めています。去年も車いすバスケットの試合にでていて、とてもたのしそうでした。

今年はどうかと、去年よりももっと笑顔でプレーしていました。

自分が試合に出られるときに、一番いい笑顔でコートにたてるのは車いすバスケットだからこそだなと感じました。

そして、私が車いすバスケットで一番すごいと思ったことがあります。

それは、敵同士であっても、助け合うことです。

車いすバスケットはたおれることが沢山ありますが、起き上がれない選手がいると、真っ先に助けに行き、支えになってあげていました。

中々できることではないので、本当にすごいと思いました。

私は、全体を通して、やはり車いすバスケットは本当にすごい競技なんだなと思いました。

バスケットは一人ではプレーできないので、助け合うこと、協力し合うことが大事なのだと、改めて考えられるいい一日になりました。

試合にでたくてもでられない人がいる中で、私は恵まれてるんだなと感じました。

ふだん、あたりまえにしていることがあたりまえではないことを忘れずに、もっともっと練習をがんばりたいと思います。

# 【荒木中学校】



緒方 紳憲 将



乗富 愛里



大石 凌輝



濱田 早南

荒木中  
近 藤 颯 馬

9月1日に車いすバスケの見学、体験をしました。まず僕は、プラカード係をしました。そして、見学をしました。見学をしながら、佐世保というチームの応援に行きました。

結果は、大きな点差で佐世保チームが勝ちました。その次は、体験をしました。体験では、僕たちは良山中としました。しかも、プロの方たちもいっしょにやってくれたのでとてもサポートしてくれたので助かりました。結果は、6対0で勝ちました。また、実際に体験してわかったことは、まずプロの方たちは、ドリブル、シュート、パスなどを軽々とばかりしていたり、ドリブルをついていたりしていたけど、やってみると、ドリブルをつくのとても難しいし、シュートも届かないと思うし、パスもぜんぜんとばせないし、いつものようにやっているバスケットとは全くちがいました。体験してみることで、プロの方たち

のすごさがとても伝わってきました。また、ルールも少しちがったのでとても不思議な感じでした。いつもは、ダブルドリブルはダメなのに、車いすバスケでは、ダブルドリブルは、オツケーというのがとてもおもしろかったです。また、プロの方たちのテクニクもすばらしかったです。それは、ルーズボールをとるときにタイヤの回転を使ってとっているのは、すごいテクニクだなと思いました。二回目の見学では、長崎チームの応援に行きました。結果は、途中で帰ったけど前半は、まあまあ点差で勝っていました。僕は、車いすバスケのプロの方たちを見てみると、やっぱり声かけが大事だなと、思いました。車いすバスケで、学べることは、まだあると思うからまた、見学したいと、思いました。

堺 美 咲

私は車いすバスケットボールをはじめで見ました。

車いすバスケットボールは、ルールなどはほとんど同じで、見ていてとてもたのしかったです。試合にでている方はほとんどが大人で、十代の方も何名かいらっしゃいました。一人一人が真剣でほんとうにカッコよかったです。

車いすバスケットボールを観せんして、車いすバスケットボールにしかないみりよくを感じました。それは、誰かが転んでしまった時、みんなで助け合っている所です。誰かが転んでしまったら、誰かが手をさしのべていました。私達がやっているバスケットは、誰かが転んでも転んだ人は自分でたちあがります。でも車いすバスケットボールはちがいました。私はそのことでよりチー

ムの仲や他のチームの人だったら助け合いができていてほんとうにみりよく的だなと思いました。

私は観せんしてみても、ときにははげしくぶつかりあって一生懸命戦っている姿がカッコイイなと思いました。そして車いすバスケットボールに興味が出ました。NHKでたまに試合が中けいされているときがあるのでみかけた時は見ようと思いません。

車いすバスケットボールにしかないみりよくをもっともつと見つけていけたらいいなと思います。

また、車いすバスケットボールのルールをもっとよく理解して、車いすバスケットボールの良さを探していけたらいいなと思います。



荒木中

## 重松暖乃

私は、初めて車椅子バスケットを実際に見ました。テレビでは、何度か見た事がありました。でも、テレビで見ると実際に見るのは、はく力が違っていて、ルールや大変さを知る事が出来ました。

まず、車椅子バスケットでも同じ高さのコートを使っていたり、車椅子が転倒しても、自力で起きあがっていて、すごくキツそうでした。ドリブルをつく事や、シュートを決める事は、特に難かしそうでした。でも、大体ルールは一般のルールと同じで、すごいなと思いました。試合中に転倒すると、起きあがるのも大変そうでした。でも、試合が終わると楽しそうにしている人もいて、大変かもしれないけど、良いスポーツだな。と思いました

た。足が不自由な人が使う、車椅子ですが、足が不自由な人でも、バスケットが出来るので、足が不自由な人でも、未来があるんだな。と思いました。私が感動した事は、車椅子が試合中に転倒した時に、違うチームでも起きあげるのを手伝っていた所です。他にも、一般のバスケットと変わらず、負けそうになってもめげずに、大きな声を出したり、一生懸命、守っていたり、勢いよく攻めたりしていた事です。

この、車椅子バスケットを見て、足が不自由な人でも、バスケットが出来ていたの、すごいと思ったし、私も、頑張ろうと思う事が出来ました。

荒木中  
田 中 響

車いすバスケットボールを知っていますか。車いすバスケットボールは、足が不自由な方々を中心に様々な人が行っているスポーツです。パラリンピックなどにもある有名なスポーツです。今日は、その車いすバスケットボールを見て、応援をしてみました。

まず、僕が思った事は、バスケットをプレイしている人がとても上手だった事です。僕らの中にも、車いすバスケットを体験した人がいます。見ているかぎりでは、ひざを使う事が出来ないのです。ほとんど、うでの力を使います。なので、力が足りず、シュートが届いていない人がいっぱいいました。そんな中、2回戦などでは、スリーポイントを決めたりと、遠くからのシュートも、楽々と決めている人もいます。すごいなと思いました。

次に僕が思ったことは、見ているだけでもとても楽しかったということです。今回で車いすバスケットを見に行くのは2回目ですが、1回目は、あまり覚えていません。そして、車いすバスケット聞いてもあまり良いイメージを

持てませんでした。でも、今日、実際に見てみて、とても楽しかったと思います。しかし最初から楽しかったわけではありません。車いすバスケットをしている人は、とても一生けんめいでした。応援をすると、それに応えてくれるように、シュートを決めたり。ディフェンスで相手をとめたりと、とてもかっこ良かったです。プレイを見ているとただただすごいと思ってしまいました。

僕が、今回、車いすバスケットを見て、今後の生活につなげようと思った事は、「あきらめない」という事です。テレビなどで、見た事なのですが、体が、不自由な人は、自分を認めたくなく、最初は、こういう、車いすバスケットなどを知っていても、関らないようにする方々が多いそうです。しかし、今回車いすバスケットをしていた方々は、そういうことに負けないようにあきらめないで、がんばってきた人たちだと思います。なので、僕も、簡単には、あきらめずに、これからの人生がんばりたいと思いました。

高牟礼中  
案 納 美 空

車いすバスケットを体験してみて、最初は、ど

りの所で取ったりしていてもとってもすごいと

ういう風に戦うのかが分からずに不安でしょ

思いました。車いすが倒れても自分の力で立

うがなかったけど、実際にプロ達の試合を見

ち上がり、ぶつかりながら試合をしていて私

ると足の不自由じゃない人と同じように戦っ

もこういう風にしたいと思うことがありまし

ていたのですすごい人達だと思いました。私が

た。これからの試合などに向けてえんりよを

車いすに乗ったままボールを取ろうとしても

しない、はずかしがらない、かたまらないな

手が届かない、届いてもつかめなかったけど

どのことを頭に入れてがんばろうと思いま

プロの人は、トップスピードでラインギリギ

す。

金子悠也

僕は、車いすバスケットボールの西日本大

思いました。それからこの大会で一番気に

会を見に行つて、足などが不自由な人たちな

なったのは、しゅう太くんの試合です。同じ

どが一生懸命プレーしている姿に、自分たち

クラスだから、めっちゃ見たかったです。な

もこれからがんばらなければならないと思い

のに、なぜか試合の応援とかぶってしまいま

ました。試合があつている時は、選手たちの

した。それが一番くやしいことです、この車

応援をしました。最初の方は、声も出せなかつ

いすバスケットで、選手の人たちは、全員が

たけれど、終盤になってくると、声も全員が

全力でプレーしていたので、そんな所をみな

出しはじめて、とても良い雰囲気になったと

らっていきたいと思います。

高牟礼中  
佐々木 海翔

僕は、車いすバスケットを体験してみて、車いすの操作だけでもむずかしいのに加えてバスケットもするのがすごくて、パスやシュートもあまり入りませんでした。それにプロの選手の人たちは、はげしくぶつかりそれでも立ち上がることがとてもすごかったです。

観戦では、プロのチームを応援したりして、プロの選手にがんばってもらえるように、声を大きく出しました。

車いすバスケットを通して思ったことは、車いすですぽーツするすごさをあらためて感じる事ができました。



高牟礼中

山下 絢由佳

けっこう前に車イスバスケットを久留米アリーナに見学しに行きました。

車イスバスケットでは、少しだけふつうのバス

ケットボールとルールがちがったので工夫し

てあるなと思いました。また、車イスをうまく

使ってディフェンスしていた所がすごいな

と思いました。車イスでもいろいろな技術が

あることを知りました。

障害のある方々も楽しくスポーツに取り組

んでいる所を見てより車イスバスケットのよさが

分かりました。チームの中には若い人から、

年配の人もいました。試合中はみんながしん

けんでした。また、声かけをしていたところ

がよかったなと思い、呼んだりすることの大

切さが分かりました。

車イスを見学して、知らなかったことがだ

くさんあったけど、知ることができてよかつ

たです。

高牟礼中  
山口 瑠 唯

車イスバスケの観戦・応援をして、応援の

座った状態のまま遠くからシュートをした

ときに最初はみんな声が出ていなかったけ

り、ドリブルを使ったりしていて、すごいと

ど、2回戦目はみんな声を出していて、ちゃ

思いました。自分はそのようなことできないし、

んと応援歌を歌っていました。体験はしてな

足が使えてバスケットをできるということは、車

いけど車イスの扱いが腕だけだし、タイヤを

イスバスケットをしている人から見ると別のス

回して動かしたり、車イスを回転させたりす

ポーツに見えているのではないかと思いまし

るのがむずかしそうでした。手だけでしかも

た。

高牟礼中  
中 園 智 子

車いすバスケットを体験して、私は最初したく

のにスムーズに動いていて本当にすごいなど

ありませんでした。でもプロの人がしている

思いました。この体験をいかして、はずかし

ところを見て、足が不自由なのにまるで、足

がらず、人がいるところにかたまらずに、試

が不自由じゃないように外に出たボールを体

合に向けて、しっかり練習していききたいと思

をはってとったり、こけたら自力で立ってい

います。この車いすバスケットを体験して、いい

たりして、すごいなと思いました。体験して

勉強になりました。

車いすを動かしたり方向転換するのも難しい



高牟礼中  
矢野未紗祈

私たちがバスケット部は九月一日土曜日に久留米アリーナであった車椅子バスケットを見に行きました。私は見に行ったあと、感じたことが二つありました、

一つ目は、体の一部が不自由な人ばかりなのに、少しも怖がらずにガツガツぶつかっていることがすごいなと思ったことです。私はどこも不自由じゃないのに、ぶつかることを怖がってぶつからないことを思いたして、私たちもこんなぶつかり方をしなくちゃいけないなと思いました。

二つ目は、男女が仲良く協力し合っている

ことがいいなと思ったことです。私たちは男が協力することが少なく、声を出すことが少ないから、もつと男女がチームとして協力し合っていないかといけないなと思いました。

私たちがこれからしないといけないことはビビらずに、ボックスアウトを積極的にやることと、男女がチームとして協力し合って、一人一人が声を出すことだと思います。このことを意識して、女子はベスト8を狙って頑張ろうと思います。

立川真愛

私は車いすバスケットをみて、体験して思ったことがたくさんあります。

一つ目は、車いすでバスケットをする大変さです。車いすバスケットでは、足の不自由な人達も一しよにやります。ものすごいはげしいぶつかりあいでも痛そうでした。また、足がつかえないので転んだ時などは起きあがるのが大変そうでした。

二つ目は選手たちの優しさです。接しよくプレーで車いすが倒れてしまったら他のチームでも優しく手をさしのべていたのです。同じチーム以外の選手の試合では敵の相手にこんなことができるなんてと思い、見ている側もいい気持ちになりました。また、私もこのような行動はまねできることなので、まねし

ていこうと思いました。

三つ目は車いすバスケットを実際にして、とてもむずかしかったことです。車いすバスケットは一度にいろんなことをします。ドリブルをしながら車いすを動かしたり、止まらせたりとてもむずかしかったです。無事に車いすをこいでシュートまでいけても止まることができませんでした。とてもむずかしかったです、やりがいがありとても楽しかったです。

私は車いすバスケットをみたり、体験をしたりして、車いすバスケットはとても痛いスポーツと思っていたけど、人の優しさがみれる、とてもいいスポーツだという事が分かりました。また、貴重な体験まですることができとても楽しかったです。

## 【三瀨中学校】



山田 伊織



小坪恵太郎

伊藤 瑞 姫

最初応援したところの試合を見て、座ったままシュートを入れるのでとどかないと思っ  
ていたけれど、3Pのところからなげてとど  
いていたからすごかったし、倒れそうになる  
と、見ている側も怖かったです。ずっと試合  
を見ていたので、2回こいでドリブルを何回  
してもいいや、時間制限は、普通のバスケッ  
トとほぼ同じなど、車椅子のバスケットの  
ルールが少しずつ分かってきました。  
体験をやってみると、見た目は簡単だけど、  
実際にやると、少し難しかったです。ボール  
をもらって2回こいでドリブルをしようかな  
と思っただけれど、難かしくて、ボールがへん  
なところになってしまいました。シュートを

入れようとしても、近いのにとどかず、一本  
だけ入れたけれど全く入りませんでせした。  
だから、とても上半身の筋肉が必要だなと思  
いました。

見てみて、もう少し他人、周りの人を見て  
みようと思いました。ぎ足の人たちなどが努  
力をしているのにバカにしている人たちがい  
るけれど、ぎ足だけど一生懸命で素てきたと  
思います。スポーツは、けがをしても一  
緒に楽しんだりできる。だから、「つらいの  
は自分だけじゃない。」と気付かせてくれる  
ようなきがしました。ぎ足でスポーツができ  
ないという人に私はスポーツができるように  
夢をあたえたいなと思いました。

三瀨中

井 上 叶 翔

九月一日に、バスケット部で車いすバスケットをみにいった。車いすバスケットをみるのは、はじめでだった。僕がおもっていた車いすバスケットよりむずかしそうだった。車いすバスケットとふつうのバスケットは、ルールがちがうところがあったので、よくわからなかった。3ポイントシュートや2ポイントシュートは、車いすにのってシュートするから、ゴール下からしかいれられないのかと思っていた。しかし、試合を見ていたら、ゴール下からのシュートだけではなかった。フリースローラインからのシュートもはいていたので、うでの力がすごいなと思った。車いすバスケットのチームの中で福岡県のチームがあった。と中からみたか  
らわからなかったけど、100以上点をとってかっていた。その後、100以上点をとっているのはどっちのチームか先ばいに聞いたら、福岡のチームと言ったから、福岡のチームはすごく強いんだなと思った。一番すごいと思ったのが、車いすバスケットのチームには手がない選手がたおれたとき、一人でおきあがったことです。それをみたとき僕はびっくりした。ずっとしんぱんがおこしてくれと思っていたが一人でおきあがったから本当にすごいなと思った。車いすバスケットをみにいって、プレイしている選手はすごいと改めて思った。またいつかみにいきたいなと思った。

横 溝 大 知

僕が車いすバスケットボール見ての感想

は、ふつうの僕達ができるバスケットとはちがってすこしかわったバスケットだと思いました。例えばすこしルールがちがったり、ボールをもつてよかったなどそこがすこしちがったルールだと思いました。足などのしょう害をもっている人達はスポーツは、野球やバスケット以外にあんまりいないのでしょう害のある人達にとってバスケットはかけがえのないスポーツなんだなと思いました。見ていた方では「ちつとも面白くないな」と思いました。けどやっている人達はとっても笑顔でバスケットをやっていたので見ていて楽しそうだなと思いました。こうしていつまでも笑顔でバスケットボールという名のスポーツをいつまでも続

けてほしいと思いました。

体験を初めてしての感想は、車いすなのでまだなれていない僕達なのですこし難しかったけどいっしょにやってくれた車いすバスケットボールの女子選手が優しくしてくださったので体験は僕にとってとってもいい体験となりました。けど何回かゴール下を連続ではずしました。けど楽しかったです。

これから僕は、今日この車いすバスケット習った事を、今後の学校生活や、自分、チームプレイなどいろいろな場面で表しながら使いこなしていきたいです。そして、牟田山、城南、筑邦西をたおせるようにこれからもがんばります。

蒲池郁哉

僕は、車いすバスケットを見学して、バスケットって障害者の人達にも出来る素晴らしいスポーツだと思いました。

見学していると、あまり、シュートの確率が高くない人も、精一杯頑張っているのが、伝わってきました。逆に、身長の高い72番の人は、シュート率も高く、「どうやったら、車いすに座った状態で、あんなにシュートが入るのだろう」と思いました。

試合に出ていた、こうきに、話を聞いてみると、「とつても難しい」と言っていたので、その前見ていた試合で、車いすをあんなに、ビュンビュン飛ばしていたのはとてもすごい事なんだと思いました。

僕は車いすバスケットを見て、「少し楽しそうだなあ」と思いました。なぜなら、やっている人達は、とても楽しそうに車いすバスケットをするからです。なので、見ているこっち側にも、楽しさがピンピン伝わってくるのを感じました。他にも、なんで、座っている状態で、あんなにも身長がでかいのかも気になりました。いつも何食べているのか聞けばよかったと、今、後悔しています。

最後に、車いすバスケットはさまざまな事を学ばせてくれたので、見に行つて良かったと思いました。バスケットの楽しさ、チームプレイ等、等、たくさん学ぶ事ができて、見ている、本当に、楽しかったです。

吉 良 江梨菜

私たちがしているようなバスケットとは全然ちがって車椅子バスケットは、車椅子も一緒にうごかさないといけないからむずかしそうだったし、うでの力がいっぱいいるから大変だなと思いました。

相手に車いすごとぶつかっていたりしてとてもあぶないと思っていただけプレーをしているせんしゅの人達をみていたらみんな笑顔でとても楽しそうにプレーしていました。

もし、車いすごとこけてしまっても、相手チームのせんしゅがてだすけをしてくれているすがたがとても心にのこりました。

プレーをする人たちみんなそのようなやさしい人ばかりでとてもすごいなと思いました。他にも、車いすにのったじょうたいでもきれいにシュートがはいたりしてすごいなと思

いました。

ドリブルつくときもふつうとはちがってすごかったです。車いすをすごいスピードでみんなこいでいたからすごいなと思いました。

車いすにのりながらもみんなでパスをつないでシュートにいつているすがたがとてもかっこよかったです。

じっさいに車いすにのってプレーすることはできなかつたけど先輩たちがやっているすがたをみても、シュートがうまくはいらなかつたり、車いすにのったじょうたいでいろいろしたりするのはとてもむずかしそうでした。はじめて見たからびつくりすることもあつたけどとても私たちがするバスケットは少しちがっておもしろかったです。



宮 崎 聖 那

車いすバスケットを実際に見て教えられた事は、大きく2つに分けられました。

1つ目はチームプレーです。ふつうのバスケットにも必要ですが車いすバスケットは私たちがチームプレーが必要だと思いました。ふつうのバスケットとちがってうしろを見ながら走る事がむずかしくなってくるのもありますし、リバウンドの時にジャンプができなくなる所もあります。そこもふまえてパスをだす所などよりいつそう考えないといけないなと思いました。

2つ目は車いすをこぐスピード力が大切だと考えました。そつこうという時もそうです。車いすは手の力がないとはすいスピードにはなりません。ふつうのバスケットは足の

速さが関係してきますが車いすバスケットは手の力がとても必要だと思いました。

実際に自分が体験してみてもむずかしかった事は、車いすをどう上手にうごかすのかとゴールまでボールを投げるのがむずかしかったです。車いすなので左右同じ力じゃないと前に進む事ができませんでした。ゴールちかくまでボールをはこんでシュートする時は手の力がないととどかない事がわかりました。

車いすバスケットは、手の力やまわりを見てうごく事など大切なんだと思いました。ふつうのバスケットでも手の力やまわりを見る事は大切なのでこれからの練習や試合でまわりを見て行動できる選手、プレーヤーになりたいです。

近藤 皓 紀

僕は、九月一日土曜日に、車いすバスケットボールの試合を見て、体験試合などをしました。

車いすバスケットボールのルールには驚くものがありました。ダブルドリブルがないのです。まあ、車いすバスケットボールをするというのだから考えれば分かることだけけれど、とても不思議な気持ちになりました。トラベリングは連続で三回こぐとなります。でも二回連続でこいで、持って、またドリブルをついても、さつきも言ったとおり、ダブルドリブルにはなりません。それを分かって試合を見ると楽しいものでした。足の力をつかわずに、遠くからすわってシュートをしていました。車いすバスケットボール選手はとても手の力が強いんだなと思いました。見てみるとひきこまれるようなかんじがしておもしろかったです。

実際に車いすバスケットボールの試合もしてみました。北野中学校の後にしました。試合をしている人達はとても楽しそうでした。僕達の順番がまわってきた時はとてもワクワクしていました。やってみるとうまくできなくて、車いすバスケットプレイヤーがとてもすごいんだなと思いました。一緒に入ってくる人がとても優しくてよかったです。ゴール下のシュートは何本もやっても誰も決めてなかったのです。難しいんだなと思いました。やっと一本決めれたときはとてもうれしかったです。

僕がこの車いすバスケットボールで感動したことは、足が不自由でもバスケットボールをしたいという心がすごく印象的でした。良かったです。次のパラリンピックはすすんでみようと思います。

今 村 風 花

車椅子バスケットを見て私達が普段、部活動でやっているバスケットと違ってスピードが速く、迫力がありません。

一番、私が印象に残っているのはディフェンスをする時です。相手を通さないように器用に車椅子を使い守っていました。特に、オフェンス側はぶつかった時、倒れてしまう場面がときどきあったけど敵でも関係なく、手をさしのべている所が車椅子バスケットのすごい所だと思います。

選手達の試合が始まる前と後の顔つきが真剣になり、試合の時は倒れても何度もパスを上手く使い熱意が伝わってきました。私は、車椅子バスケットの選手みたいにボールに向かって、倒れてもつびついて諦めない気持ち

を持つ事が大事だと思いました。

フリースローの時は、座った状態だけときれいなシュートフォームで私達のフリースローと変わりませんでした。車椅子も私達がやっているバスケットもチームワークの大切さや声かけの必要さは、同じでした。しかし、車椅子バスケットで自分の足りない所を見つけることができました。

私は、選手達のようにチームワークを大切にすることが大事だと思いました。選手達はチームワークがよかったからこそ、一人一人のいいプレーを見ることができました。これからの部活では、チームを守るようなチームプレイを意識してやっていきたいと思えます。

山下 芙由

9月1日に車イスバスケットボールの大会がありました。車イスバスケットは、まず、久留米のチームの応援をしました。負けてはしまいましたが、そのチームは、私たちと同じ年の人が多くて、でも、車イスをこぐのがとても速くて、すごいはくりよくでした。ボールをカットする姿がとてもカッコよかったです。一試合がおわって、二試合目は、車イス体験でした。私たちの順番は、4ピリ目でした。私たちの前に、男バスがやっていて、いつもは、上手な男バスでさえ苦戦していて、少しビビりました。そして、ついに私たちの番がきました。私は、車イスをのっていた人とかわると、すぐにうごいてみました。右の

タイヤをうごかすと、半時計回りで回って、左のタイヤをうごかすと、時計回りで回りまわりました。両方ともうごかすと前へ、後ろへと進みました。私は意外と簡単なんだなあと思っていました。そして、試合が始まると全然上手にできないし、シュートの、ボールは、ぎりどくけど、1回も入りませんでした。ほのと、みずが入ってたので、とてもすごいと思いました。私たちのチームで、一緒にやって下さった人は、もうなれていたし、とても上手だったのですごかったです。車イスでは、学ぶことが、たくさんありました。すごいと思うことも、難しいと思うことも。そしてまた、車イスのすごさ、大変さも学べました。

西 田 蒼 波

車いすバスケットボールを初めて見て、すごいと思いました。

理由は、車いすがぶつかり合って、車いすがういたり、車いすがたおれたりしているからです。車いすバスケットで、たおれたときに、自力で立ちあがらないといけないというのが実さいにみて、あぶないと思いました。すぐには立ちあがれずにいる人がいて、こわいと思ったけど、相手チームの人が、助けていたのでいいと思いました。すぐに立ちあがっている人もいたのですごいと思った。

車いすバスケットのやり方がむずかしそうだと思います。自分は、たいけんをしていないけど、見ていて、車いすバスケットの選手みたいに、はやく動くのはむずかしそうだし、シュー

トがあまりはいつていなかったもので、難しそうですねとおもいました。ルールも、すこし、むずかしそうだと思います。ドリブルは、ふうにやっているのとちがくて、1回ついたら、置いて、車いすをうごかすので、中学生の人たちは、やりにくそうでした。なので、車いすバスケットボールの選手の方々は、すごいとおもいました。

自分は、車いすバスケットボールの方々が笑って、楽しんでいるところが、ありました。なので、自分は、試合の前には、きんちょうをしているので、自分も車いすバスケットの人みたいに、バスケットを楽しんでいけるように、がんばります。

石橋歩果

私は車いすバスケットは見た事はあつたけど体験をしたのは初めてでした。最初試合を見たときは、その速さに圧倒されたけどずっと見ていると、軽々と3Pシュートを決めたりしていたので簡単なのかなと思っていただけ但实际上してみると全然違いました。乗った時は動きやすそうだなと思っていただけ車いすを前に進めようとしたら思うように前にまっすぐ進まなかったり、方向を変えようとしても全然方向が変わらなかったりと、とても難しかったです。自分にボールがまわってきてもどうやって進んだらいいかわからなかったりと、とても混乱してしまいました。でも選手の方はとても上手で、選手の方のサポートのおかげで1回だけ決めることが出来ました。もしたら選手の方が笑顔で「ナイシュー」と言ってお下されたのでとても嬉しかったです。私は車いすバスケットを通して色々なことを学びました。その中でも「チーム内での声かけの大切さ」です。私が体験している時に私が失敗しても明るく笑顔で「おしい！つぎ、つぎ！」と声をかけて下さったので私がんばろうという気持ちになれました。試合中も何があってもこういう一言があるから選手はあんなにいきいきとしたプレーが出来るのかなと思いました。私もそういう一言がかけられる人になりたいと思いました。

赤 司 蒼 陽

ぼくは、車いすバスケットをする人たちを見て、ぼくは、感動しました。なぜかとゆうと、不自由なのに、車いすのなかバスケットをしているところがカッコヨかったからです。ふつうのバスケット、車いすバスケットでは少しちがうルールがあるとうわかりました。車いすバスケットはダブルドリブルがないとしり、ビックリしました。車いすはとてもそうさがむずかしいと思います。ゴールの高さも、とても高いけれどもそれをなんらく、すわって、シュートを入れててすごいとおもいました。ころんだりしても、ゲームは、進んでいて自分でたたないといけないと、しりました。ふつうのバスケットもおもしろいけれど車いすバスケットも、はくりよくがあり、とてもおもしろいです。車いすバスケットは、人によって動きがちがうとわかりました。ドリブルなども、とても車いすでは、むずかしいと思います。車いすバスケットは、足が使えないので、とても不便だと思います。もし自分だったらとてもむずかしいと思います。足を使って技をするのに、車いすでバスケットをするので、自分にはできないと思います。足が不自由でもバスケットができるのです。すごいと思いました。足をうしなってもバスケットをすることができると思いました。

川 勝 要 介

車いすバスケットを見て足がない人もいれば足がうごかなかったりする人もいたけど一生けん命にバスケットをしていてそしてとても上手でした。一生けん命に車いすのタイヤをこいだり試合に集中するそれだけでも難しいのにタイヤを手でおして進んでディフェンスの時も車いすで相手を押さえたりしてすごいと思いました。仲間ともちゃんとれんけいできていてボールをもらったらパスをして相手にかこまれたら相手をカットした人が近くに来てボールをもらいはいるようにかくじつにシュートをきめてそれもすごいと思いました。他にも相手にボールをカットされたらすぐディフェンスにうつるようにすぐに追いつこうとして車いすを一生けん命うごかして相

手がゴールにボールをいれさせないように僕たちがしているようなディフェンスをするのもすごいと思いました。他にも方こうてんかんする時にも体重をかた方にのせてかたむけさせて難しそうだな〜と思いました。僕がもし車いすバスケットしても車いすをこぐだけでせい一ぱいだと思います。僕はこの車いすバスケットを見てしている人たちはすごいな〜と感心を持ちました。あらゆる場面、ディフェンスに時やオフフェンスの時、攻めこまれたら一生けん命車いすをこいで、攻めこむときもまたこいでパスを回したりうばったりとふつうのバスケットとは違う難しさや楽しさが伝わるスポーツだと思いました。



鷹尾 颯

ぼくが一番最初に思ったことは、いろいろな人や様々な会社が手伝って行われていることが分かりました。車いすバスケットボールには特有のルールがあつて、ダブルドリブルが適用されないことがとてもびつくりしました。車いすが転倒したときは自力で起き上がらなければいけないことも知ることができました。一番不思議だと思ったルールは選手とチームの持ち点のことで、選手は一人ひとりが障がいので1.0点から0.5点きざみで4.5点まで持ち点でクラス分けがされ、常にコートに出ている5人の選手の持ち点の合計が14.0点以内でなくてはならないことも知ることができました。

車いすバスケットボールの試合を見て、プレーをしている人たちは本当にバスケットボールが好きなんだなあと思いました。同じチームの人が実際しているのを見て、車いすを動かすのに手こずっていたり、シュートが入らなかつたりしてとてもバスケットボールをしにくそうにいました。車いすバスケットボールはとてもむずかしいんだなあと思いました。

改めて車いすバスケットボールをしている人たちは本当にバスケットボールをしたい、バスケットボールが好きだということをおぼることができました。

田 中 莉伊奈

私が、車いすバスケットボールを見て、いつも思うのが、腕の筋肉がすごいと思います。

理由は、座ったままシュートがたくさん入るし、車いすどうしでぶつかった時に自分で起き上がれるからです。

それと、チームの中に女の人がいたりとか、協力できていてチームプレーができていいるなと思いました。

車いすだから、細かい動きはできてなかったけれど、パスも強そうだなと思ったし、上の高いパスもできていたし、迫力もあると思いました。

車いすの、操作もしながらボールを持つって大変だろうなあと思いました。

だけど、車いすだけど、一人一人バスケットに対する思いが強いから、こうやってチームプレーができるんじゃないかなと思います。なので、私達にたりない物は、声。とかそういうのもあると思うけれど、バスケットに対する思いがたりないのではないかと思います。

車いすバスケットボールを見て、学べた事はたくさんあるので、自分達も真似しようかなあと思います。

# 【城島中学校】



市川 暉和



小早川 彩温

城島中  
下川陽人

今回の車いすバスケットボールを観せんと僕は初めて、車いすの試合を間近で見ました。テレビでみた時よりも迫力があり、ぶつかったり、倒れたり、とても激しい戦いでした。たくさんの足の障害のある人や、足がなかった人やほかにも、手が二本指しかなかった人など、とてもびっくりしておどろきました。その中で一生懸命にやっている姿を見てとても感動しました。目がかがやいているのです。みなさんの表情も明るく笑顔もあり楽しいプレーをしていたと思います。その選手たちはとてもバスケットボールが好きなのだと思います。車いすの人達は、自分の体に障害があるっていうのに、それをわすれたかのように、バスケットをおこなっている、とても心が強い人達ばかりであふれていると思います。なぜ心が強い人だと思えるのは、最初は障害だつてことを、受け止めなければいけない。これからも自分も考えたりしていかないといけない。そうとうなやんだ人たちがじゃないかと思うから。その結果こういうふうに、笑顔でいられるんだなと思いました。

僕は本当は、気持ち弱いというのがあり自分一人ではなにもかもやれるってことはありませんでした。だけど今回の車いすを見て自分は少し変わったと思いました。選手たちの熱い心にグツとひきこまれたかのように、思います。

今回の車いすバスケットボールのかんせんして、勇気と、熱いハートをもらい、自分は、受験という大きなかべもあるので、選手の人達の勇気や、熱いハートをもらいながらも、がんばって勉強していけると思います。あとこれからの人生にも、勇気などをもらえたと 생각합니다。車いすバスケットボールとは、男と男の熱いハートと勇気のぶつかり合いでもあると思います。なので車いすバスケットボールの選手の方々にはこれからもずっとずっと強い心でやってもらえたらとてもこれからのたくさんの人のハートを燃やしてくれて、勇気もあたえる最高の人達だと思いました。

城島中  
過 能 夢 香

車いすバスケットを見たのは、2回目でした。1回目見たときは、ただ車いすののつてバスケットしているのにおどろいていました。ただ2回目見たときは1回目とはぜんぜんちがうことを思いました。それは、チームワーク、チーム内での声かけがすごいなと思いました。

「大丈夫ー」とか

「もういっぽんもういっぽん」という声がありました。ミスをしてしまったつぎがんばろうと思うような声かけでした。私はそんな声かけはできません。強くゆつてしまったりしてしまいます。そうゆうところをみて車いすバスケットをしている人々はすごいなとあらためてそう感じました。私もみんながミスしてもはげますように声をかけていきたいです。私も一年生の時にシュートをミスしていると先ばいたちが

「どんまい！」

「もういっぽん」と声をかけてくれました。そのときもういっぽんがんばろう。という気持ちになりました。私もみんながどういわれたらがんばろうというきもちになれるかをかかんがえて声かけをしていきたいです。

車いすバスケットの人々はたすけあいが出てきました。たおれたりするとすぐにかけよつ

てきてたすけていました。すごいなと思いました。自分もプレーしないといけないのにはほかの人のところまでいくのはすごいと思いました。私は自分のことをかんがえるのに必死でチームメイトのことまで考えることが出来ませんでした。ほんとにすごいなと思いました。私ももつとまわりを見てこうどうしていったらなと思います。

実際に車いすののつてプレーしてみると前よりかは、車いすのつかいかたが分かるようになつていたけどボールをもつてすすむのがとても難かしかったです。選手がシュートをするときのこつや車いすのつかいかたをおしえてくださいました。シュートにはいったけどはいりませんでした。だけどとても楽しかったです。体がうごかなくなってもなにかにいつしようにけんめいしていることはすごいなと思いました。私だったらたちなおることは出来ないなと思います。だけどせんしゆの人々はちがいます。体がうごかなくてもそれを忘れてるように楽しく、のびのびプレーしていました。それはとてもすごいなと思います。

体をふじゆうにしてもたのしくプレーしていると思うので私もたのしくプレーしていきたいです。

城島中  
岩 坂 瑚 子

私は、初めて車いすバスケットボールの試合を生で見ました。

前の日から部活の先輩と一緒に応援するためのうちわを作りました。うちわの文字は、『ガンバレ!』と一文字づつ作りしました。試合当日、私は試合会場に着いて、びっくりしました。なぜならたくさんの方の車いすに乗っている人が、こんなにもいると思わなかったからです。

試合がはじまりました。試合で戦っていた相手は、大分WBCで、私たちの応援するグループは、山口オーシャンズでした。応援する時に、作ったうちわを持って、一生懸命応援しました。山口オーシャンズの選手は、みんなディフェンスが上手かったです。車いすを中に絶対入れないようにすることがすごかったし、相手が回って、せめようとすると、『さっ』とディフェンスの人が回って中に入れさせないというところが、すごく速くて、びっくりしました。結果は負けだったけど、とてもいい試合が、見れて良かったです。

第三試合では、相手チームがHAGAKUREDancersで、私たちが応援したところは、GREENでした。いろんな中学校の人たちと応援をして、GREENの人たちに、エールを送りました。

試合の中で、たくさんびっくりしたことが、ありました。とくに心に残ったことが、遠くからのシュートも、車いすに乗っているけど、高く遠くにのばせることでした。シュートが入った時、どうやったらあんなに遠くまで、シュートをうつことができるのかなあと考えてしまいました。選手が試合の中、たおれませんでした。でも、ルールでは、自分で立ち上がらないといけないと聞いて、どうやって立ち上がるのかなあと見ていたら、自分のうでをつかっ、とび上がるような感じで起き上がったので、すごかったです。

私が車いす体験のバスケットに参加しました。思った以上に軽くて、こぎやすかったです。ドリブルをついた時、2回ドリブルをついて、持ったのくり返しをしました。と中で、ころがっていったので難しかったです。シュートを何回も何回も入れたけど、入りませんでした。いつも、どのくらい足に力を入れていたかが良く分かりました。最後の最後らへんで、シュートが一本入ったので、うれしかったです。

今日の体験をして、車いすバスケットの難しさを感じて良かったです!これからも山口オーシャンズと、GREENを応援したいなあと思いました。

## 城島中 境 美 憂

9月1日土曜日に第三十五回りんどう杯車  
いすバスケットボール西日本大会が久留米ア  
リーナでありました。

最初は、選手の人たちのバスケットを観戦しま  
した。私たちは山口オーシャンズと  
GREENを応援しました。選手の人たち  
が、試合しているのを見るととても迫力があ  
りました。だから途中でたおれている人がい  
て、試合を中断して、おこすのかなと思っ  
たけど試合は中断しないで、自分で自ら車い  
すをおきあげようとしていました。それを見た  
相手の近くにいた選手が手をさしのべていま  
した。私はそれを見て、相手チームなのにそ  
ういう心づかいもあってすごいなとおもいま  
した。

次に、車いすバスケットボールを体験させ  
てもらいました。車いすバスケットボールの  
ルールはほぼ変わらないから、やってみてと  
先生にいわれたので、最初はいやだったけど  
やることにしました。車いすバスケットボー  
ルを体験して、想像以上に楽しいスポーツで  
した。車いすのそうさは普段慣れているわけ

ではないので、本当は前いかなきゃいけな  
かったのに、うしろにいたり、うしろにい  
かないといけないのに前にいってしまったり  
したり、普段よりもバスケットゴールが高く  
感じて、うまくシュートができないという、  
難しいと思う場面がいくつかあったけど、今  
回の大会があったからこそ車いすバスケット  
ボールは楽しいという気持ちにもなったし、  
もう一回したいなあと、思えるようになりま  
した。難しい所があったらすぐに選手の人た  
ちがきて、やさしく、私たちがわかりやすい  
ように、ていねいに話してくださいだったので  
てもたのしかったです。今回の大会で観戦、  
体験をさせてもらって、車いすバスケット  
ボールは、足がない人もある人もしょうがい  
がある人もない人も関係なく、試合ができて、  
普通のバスケットボールとはちがうけど、楽  
しく、しかも選手たちがやさしくていねいに  
教えてくださったり、最初はうごかすのが難  
しかったけどしていくうちにだんだんうごか  
せるようになっていくので、皆さんもぜひ一  
回はしてほしいなと思いました。

城島中  
近藤愛梨

車いすバスケット。それは、ドラマでしか見たことのない、難しいものだと思っていました。車いすという事もあるので、車いすどうしが激しくぶつかり合い、倒れてしまうというイメージが私の中にはありました。でも、バスケットでは見られない、車いすバスケットボールだからこそ見られるものもありました。

9月2日、土曜日。久留米アリーナまで行くと、とても大きくて、車がちよつとだけ、渋滞状態でもありました。駐車場を見ると、車いすののつて、荷物を運んでいる人などが多く見られました。最初はどこにいけばいいのか分からなくなるくらい広くて、いすの席も数が多く、びつくりしました。普通は、1つの建物に2コート分のコートがあるんですけど、3つもコートがあつて、すごいなあと思いました。いよいよ試合が始まることを私達が応援する出番がきました。山口オーシャンズとあったチームの応援でした。試合が始まる前に皆でパスとかをしていました。どの時もかけ声をかけてとても、車いすでできるようなものではありませんが、驚きでした。一つのまにか応援ではなく、くらくらいついてしまいました。バスケットをしながら、車いすを動かすことにもびつくりしたのですが、まず、近くで見ると迫力が違いました。男性ということもあつたので、車いすどうしがぶつかりあつたり、たまには一回転ぐらい大胆に回って転んだりしていました。それでも、自分で起きあがらないとい

けないと、車いすバスケットボールのルールだと初めて知りました。試合中にたびたび、私がかくげきしたのは、相手チームと車いすどうしがぶつかりあつてしまうことがあるけど、

「だいじょうぶですか。」

と声をかけながら、ゴメンという手の形をして、頭をペコペコさせているのが印象的でした。相手チームながらも、車いすが相手にひつかかつてないかを確認し、気にかけるところが車いすのいいところだと思いました。車いすなので、逆に動きにくいのかなあと思っていました。選手は相手をすりぬけて、ゴールに速いスピードで、車いすをこいでいきました。私が車いすを、少しの時間体験し、こごとすると、右左に向かう方向が分からなくて、いろんな方向に回してたら、動きました。なので、車いすののつてから分かつた事なんです。選手があれだけのスピードで、ボール持つて試合をするなんて、難しく大変だなあと思いました。車いす動かすのに、時間かかつて大変なのに。

今回、車いすバスケットボールを自分の目でまのあたりにして、ドラマとは実際見たのと迫力が違つて、まちかで見られて、とても嬉しくなりました。選手の皆様が、勝ちたいという思いで熱いプレーをしている姿に、自然と応援したくなる気持ちで、見ている姿に、自然と応援したくなりました。何かに夢中になって、全力をそそぐということは、すばらしいことなんだと学びました。



## 古賀優梨愛

私が、車いすバスケットを通して思ったことは最初は、こわそうだなと思っていただけ、試合を見てみると、とても楽しそうで、ふつうのバスケットと同じで、チームの大切さ、協力の声かけなどが、とても大切だということが分かりました。

また私達が試合を見て思ったことは車いすバスケットをしている人などは、手足などが不自由になったりしても、バスケットをあきらめずに行っているということが分かり、とてもすごいなと思いました。なので、私はそんな車いすバスケットを見て、これからもあきらめずに最後までやりとげたいと改めて思いました。

また、私達が応援をしていて思ったことは、もし誰かが、こけてしまったりした時などに、同じチームでなくても、車いすのもつ場所をかして、助けてあげていたのを見て、車いすバスケットをしている人達は、助け合いもとてもかんぺきだということも分かり、とてもすごいと思います。また、声かけをして勝利に導いているということも分かりました。他にも、もしシユートがはいらなかった時なども、

「フアイト」  
などの声かけをしていてとてもすばらしいと思いました。

また、私達が体験試合をして思ったことは、車いすをこぐのも難しいし、ボールをパスしてもらっても、うまくキャッチできないので、とても難しかったし、ゴールの高さも、ふつうのバスケットと同じことを聞いて、とてもびっくりしました。また、トラヴェリングや、ダブルドリブルなどのルールも、ほとんどが同じだということも聞いて、とても、びっくりしました。

このように、私達は、車いすバスケットを通して学んだことなどを、日常生活などで活用したいです。またこれからも、車いすバスケットで学んだ、チームの大切さ、協力、声かけなどを行動にうつしていきたいです。他にも、助け合いを合言葉にして、部活動などで活用していきたいです。

貴重な体験ありがとうございました。これからも頑張ってください。応援しています。

## 江見帆加

私は、りんどう杯車いすバスケットボールを見にいきました。私が応援したのは、16チームの内、山口オーシャンズとGreenの2チームです。山口オーシャンズもGreenも迫力がすごかったです。1番すごいと思ったのは、一般の競技と同じ高さの3.05mのゴールをつかって試合をしていることです。私たちは普段、立ってジャンプをしてシュートしていますが、車いすバスケットの選手は座ってジャンプをせずシュートをしています。私は何度かやつたことがあります。ゴールにボールがとどかず、シュートをきめることができませんでした。それなのに、車いすバスケットの選手はふつうにとどき、シュートも入ります。本当にすごいと思ったし、かっこいいと思いました。

車いすバスケットと私たちがやっているバスケットの違いで、1番は車いすに乗っているかないかですが、私がおどろいたのは10分のピリオドを4回行うことです。私たちは、7分か8分のピリオドを4回行っていきますがそれでもとても疲れます。車いすバスケットの方が時間が長いのは、やっぱり車いすに乗って動くからなのでしょう。それでも、車いすバスケットも体力をつかうと思うので10分間はきついと思います。疲れていても、最後まで全力で戦う姿がとても印象に残っています。やっぱり違いがあってもきついのは同じだし、みんな勝ちたいと思ってやっているのは

かわりないのだと思いました。

車いすバスケットを体験してみて、1番大変だったのは車いすをうまく動かさず思い通りにできなかったことです。シュートもうまく打てず、リバウンドも難しかったです。それでも自分のチームに点があるともうれしい気持ちになりました。学んだことはチームプレイが大切だということです。自分1人でボールを運ぶのではなく、仲間とパスでつないでゴールまでもっていくことが大切だと思いました。困ったことは、ルールがわからず動けなかったことです。自分で調べてルールをきちんと理解し、自分で考えて動けるようにしようと思いました。

車いすバスケットを見て、仲間と協力してプレイし、全力で戦うことも大切だけど、つらくてもがんばって立ち上がる強さも大切だと思いました。車いすバスケットでは、車いすが転倒することがあります。車いすが転倒した場合は、自力で起きあがらなければなりません。私は、転倒するかもしれないと恐れ自分から前にできることができませんでした。しかし、車いすバスケットの選手は違っていました。転倒することを恐れず、おもいきり自分のプレイをしていました。その強さがうらやましく、かっこいいとも思いました。私もけがなどを恐れず、自分のやりたいように動いていこうと思います。

城島中  
山 浦 天 寧

車いすバスケットボールを見るのは2回目で、昨年よりも、迫力があつて、昨年よりもおどろきました。選手のみなさんを応援していて、どのチームも中間がミスしても、せめずに、はげましながらどんなに負けていても笑顔で、あきらめずに戦っているというのが、昨年よりも強くなれば他のかなと思いましたが、私が一番いんしょうにのこっているのは、ゲームをする前とした後でした。なぜかというと、行く前にならずハイタッチしたり、「行ってこい。」といったりして、やるきをさらに出させて、ゲームがおわつたあと、みんな、わるかったところやよかつたところを、ベンチで見ていた人がつたえてあげて次にこんなかんじでゲームしていこうなどの作戦をいったあとと輪になって元氣を出して、行くところがとてもいいいんしょうぶかくのこりました。そして相手チームの人とも仲がいいのかは、分からないけど、試合のときに応援していたら仲よく話していたので、とても試合をしているように見えませんでした。実際に

交流試合をして、普段部活でしているシュートが、座っているだけでゴールが高くなりぜんぜん入りませんでした。車いすのうごかしかたもあまりわからなくともむずかしかったです。でもプロの人たすけてくださつたおかげで、みんなたのしくゲームができました。私たちの中学校の順番がくるまで他校の子たちをおおえんしました。いつもおおえんしな他校の子たちを見ると上手だなとか、始めてなのになんであんなに出るのかなと、とてもたくさんのぎもんが出てきてとてもいい体験したなと思いました。

来年は、もうできないから、こんかいの大会で、城中のバスケット部にたりないものとかいかなどたくさんのものを学びました。こんどう先生というふくこもんの先生にまいにちいわれていること声をだせといわれているのでこれをきかいに少しずつ出していこうと思いました。

城島中  
市川 暉 和

僕は、車いすバスケットボールの試合を初めて見てとてもカッコいいなと思いました。障害者の人達から生活するイメージで他の人から助けってもらいながら誰からも助けてもらわずにあんな輝けるんだなと思つて驚きました。あと、コートの高さとカリングの高さが普通のとほぼ同じだったからあれで車いすに乗ったままスリーポイントシュートとか普通のシュートは僕だったら絶対届かないなと思いました。だから車いすの人たちは、腕の筋肉がとても鍛えてあつても足がとても細かったのほとんど腕の力だけでシュートを打っているんだなと思つてすごいと思ひました。僕は障害者じゃないからその人たちの生活とか困るところとか詳しく分からないけど車いすバスケットボールは普通のバスケットボールとほとんど変わらないなと思ひました。なぜなら、ボールを追いかけるすがたや絶対優勝してやるといふ気持ちの持ち方、オフエンスやディフェンスの戦い方が普通のバスケットボールと変わらないなと思ひたからです。これは違うなと思ひたところは得点の入り方ぐらひでした。なぜなら座高が高い人にパスをやれば、高いからディフェンスの人がなかなかブロックができませんなと思ひたところとオフエンスは成功しているけど最後にシュートやレイアップがなかなか決まらないなと思ひたからです。なので8分間で4ピリオドまでやつても30点台とか20点台が多かったです。なので僕は得点の入り方が普通のバスケットボールと違うなと思ひました。でも普通のバスケットボールを見ている感覚と同じになつたのでもちろ

ん応援したくなるし、あまり得点が入らない分、入つた時にとてもうれしからすごく楽しかつたです。ルールとかがよく分からなかつたけど障害者の病気の重さによつて持ち点が変わるといふことを知らなかつたので知れてよかつたです。それに車いすの選手と中学生が一緒に試合を行うやつで、城島は女子だけしか試合に参加してないけど、見ていて初心者の人にはドリブルもパスもシュートも全てが難しいだらうなと思ひました。僕はカメラ係だつたのでも迫力のあるプレーとかシュートが入る瞬間とかをカメラにおさめることができうれしかつたです。でも僕は、見るのも楽しいけど試合形式でやつてみたいなと思ひました。なぜなら見るよりも圧倒的に実際にやつてみたほうが楽しいからです。なので僕は中学のバスケット部は引退したけどまたバスケットをやりたいなと思ひました。僕は一日目しか見に来られていないけど一日目だけでもとても迫力があつて良いプレーがたくさんでいてので二日目もつとハイレベルな試合になつていたんではないかなと思ひました。僕はこの車いすバスケットボール西日本大会を見に来れて本当に良かったと思ひます。試合を見て障害者に対してのイメージなどが180度変わったし、2020年にある東京オリンピックの正式種目であるこの競技を見てみたいという今までなかつた関心を持つことができて本当に良かったです。これからは障害者に対しての考え方を活かして、車いすバスケットボールの関心を深めていきたいと思ひます。

## 執行康介

まず最初に思ったことは「すごく生き生きしていてすごい」と思いました。体や足が動きにくかったり、動かなくてもスポーツを通して仲良くなったり、楽しんだりできることは自分だけではないんだと思いました。自分は障がいを持っていて人はつらそうないメージを持っていました。けれども試合や試合まえのアップをしていた姿を見てなんて明るく前向きなんだろうと思いました。やっぱり普通と違うと障害者は思われがちですが、全然そんなことはなく普通の人と何も変わらないと思いました。

次に自分はいろいろな工夫がしてあるんだと思いました。障害を持っていて人の障害の重度で一人一人持ち点が合計して十四点以内だったら出ていいというルールでした。少しルールは違うけれどもいろいろな人が車いすバスケットをできるように工夫されているんだと思えました。そして幅広い年れいの人々が車いすバスケットに参加しているんだと思えました。一番年下で中学生、一番年上の方が七十歳という人が参加していました。だれでもいろいろな人が車いすバスケットを楽しむことができるんだと思えました。自分は世の中にはたくさんの人々がいて、その人達それぞれの楽しみや幸せがあつて、それぞれ見える世界が違っているのに、自分が見ていた世界は狭い

んだと思えました。そして自分が見ていて、すごく笑顔が印象に残りました。一人一人が声をかけあつていて失敗したら「ドンマイ、ドンマイ」、点が入ったら「ナイスシュート」とコートから声がとびかつてすごく楽しそうな様子が伝わつてきて自分もやりたいと思いました。車イスで動くのは難しそうなのに軽々と動き、さらにボールをしっかりと操っている姿におどろきを感じました。自分は障害者のことをネガティブな想像をしてしまうけれど、そのネガティブな想像をされていると思つていた障害者はポジティブで、障害者という言葉葉をネガティブに考えていたのは、普通の人たちだつたのではないかと思えました。

自由は体に何らかの障害を持っていても自分より楽しそうに生きていると思えました。交通事故や病気などでこれからの体が不自由になることがあるかもしれません。なのでこれから体が動かせて、やりたいことができるとこの体を感じなければならぬと思えました。そしてだれでも不快になるような思いをせずに過ごしていけるような環境が必要なんだと思えました。ぶつかつて何度たおれても楽しそうに車いすバスケットをやっている人たちを見てこれからもあきらめずに何事もやっけていきたいと感じました。

## 小早川 彩温

車いすバスケットは、ふつうのバスケットとちがうところがたくさんありました。走る事ができないからトラベリングがボールを持った状態で3回こいではいけないとなっていておもしろかった。使っていた車イスはいっぱんで使われているものではなくて、タイヤが八の字になっている車イスを使っていました。後ろのほうに小さな車輪がついていたからなかなか倒れにくそうでした。倒れた時には自分でおきあがっていました。すごいなと思いました。でも基本的なルールなどは変わらなかつたから、少し似ている感じもしました。シュートの時にとぶ事ができないからとてもむずかしそうだったので、座った状態でシュートをうっているようなもので、下半身の力を伝えるという事ができないからむずかしいんだなと思いました。レイアップシュートもとべないからスピードにのってそのままうつというような感じでとてもむずかしそうだった。16チームが今回の大会に来ていました。いろんなチームがいて男性だけのチームあれば、女性の方が多いチームもいて、男女混合のチームもありました。そしてなによりおどろいたのが年齢です。自分は、今15歳で、自分より若い12歳の選手がいれば70代になる選手もいました。とても年齢層が広いんだなと思いました。

試合を見ていていろんなことを感じました。まず車いすのあつかいがとても上手だなと思いました。シュートをいれたりしてディフェンスに戻る時の

ターンがおお回りせずこまかく回りはやくもどるということをしていました。自分はよく車いすである前に早く小回りできるなと思いました。次はこぐ早さにおどろきました。トップスピードになると走るより早いスピードでこいでいるんじゃないかと思われました。こぐ時に手を床ギリギリまでこいでいたのが早くこぐ秘けつなのかなと思いました。外にでそうになつたボールもそのスピードで外にださずに仲間にパスをつないでいてすごいなと思いました。そして、とてもれんけいがとれているプレーだなと思いました。車いすバスケットではドリブルで一氣に抜いてシュートにいくというのがむずかしく、パスをつないでシュートにつなぐというれんけいプレーがとても多かつたです。パスをすばやく回しシュートを決める、そんなプレーをみていてとても楽しそうだなと思いました。そしてディフェンスのほうではマークマンにびつたりはりついてついでにいつてマークをはずすのがとても大変そうでした。いくら小回りできるとはいえ車いすなのでそう簡単にはマークがはずせずつそうでした。こんな風に車いすバスケットには普通のバスケットとはちがう良さがたくさんありました。たとえ車いすでも楽しそうで選手たちが明るく楽しそうにしていて自分の楽しい気持ちまでできてしまいました。それほどにすばらしい競ぎだなと思いました。とても楽しそうだったので、自分もいつか楽しく車いすバスケットをしてみたいです。

城島中  
川 辺 怜 佳

車いすバスケの会場に着いた時に私は、こんなに参加する人がいるんだなあと思いました。私は、会場の中に入った時にとでもきんちようしてしました。でも、城島中学校の人がすわる場所があつてそこにすわると、少し落ち着きました。車いすバスケに出場するのは大人の人たちでした。練習している所を見ていました。私は、見ているだけでとてもこわそうに見えてきようふをいだいていました。でも、応えんは一生懸命がんばりました。他のチームとの応えんで、私たち女子バスケットボール部は、応えん歌など何も無かつたので「がんばれ！」

と  
「ファイト！」

しか言えていませんでした。でも、ボールがゴールがごに入った時は

「ナイスシュート！」

と言ひ、入らなかつた時は、

「ファイト！」

と言つていました。他のチームの人たちは、味方のチームに応えんしているのが伝わるような応えん歌でした。私は、すごいと思いました。なので、私たちも他のチームの応えん歌をまねしてあとに続けて応えんをしました。応えんをすると、どんな楽しくなつてきました。いつのまにか、きんちようもなくなつていたのでホツとしました。そして、応えんがずっと続いて私も少しずつつかれてきました。きゆうけいしにもどつてお茶を飲み

ました。そして私は

「ふうー」

と言つて応えんする場所に、再びもどりました。そして、私はまた応えんをがんばりました。もちろん、がんばつたのは、私だけではなく先ばいたちなど女子バスケットボール部全員が応えんをがんばつていたと思います。私は、先生から、

「後で、あなたたちも車いすバスケに出て、体験してもらうからね」

と聞いた時はとてもおどろきました。車いすバスケを体験するのは、他のチームの人たちもです。私たち女子バスケット部もふくめて4チーム味方がいました。3チームが、試合に出てあつというまででした。どのチームも、オフェンスやディフェンスがとても上手でした。とうとう城島が出る番がやつてきました。私は、後半にでます。前半に出ている先ばいたちを見ると、やつぱり上手でした。私も車いすに乗つてバスケットをしました。どうそうさしていいかがよく分かりませんでした。でも、いい経験をすることのできたのでよかつたです。車いすバスケは、毎年あつているそうです。来年も行くそうなので、その時はきんちようせず、スムーズにそうさして動けるように、一生懸命がんばりたいです。後、味方チームでの応えんもがんばりたいです。私たちもいい経験を本当にありがとうございます。

城島中  
福山潤成

僕は第三十五回りんどう杯車いすバスケットボール西日本大会にバスケット部のみんなと、車いすバスケットを見に行きました。

さいしょ自分は本当に車いすで、バスケットなどができるのか、シュートがはいるのか、無理だと思っていました。じっさい試合を見てとてもおどろきました。車いすバスケットボール特有のルールなどぶつうのバスケットボールとちがって、選手とチームのもち点などが、さいしょはよくわからずに試合を見ていたけど、試合を見ているとじよじよにルールがわかっていき試合を見ているのがとても楽しくなりました。

試合にでる選手は、足がふじゆうな人とかも試合にでていましたが、ふじゆうじゃない人も車いすバスケットができます。

試合を見ていると、試合にでるまえに選手の一人一人がチームのみんなと声をかけあって「みんなでがんばろう！」などという声がかきこえてきてとてもみんなチームの一人一人が、がんばろう、というつよいきもちがつたわってきました。いざ試合になると、選手みんなが、ボールにむかって、すごいはやさで車いすをこいで、ボールにむかっていってました。

ボールをとると、チームのみんなが声を出し「パスー」などといっているとてもすごかったです。車いすなので、すわったまま、うでの力でシュートをいれるのかなと、思ってたんですが、なんとすわったままで、うでの力でせんしゆの人がシュートをいれたのです。

自分はとてもおどろいて、やっぱりすごいとあらためておもいました。

選手の中には車いすと、車いすがぶつかってたおれてしまった選手がいて、でもすぐなんともなくたちあがり、またボールにむかって車いすをはしらせました。同じチームの選手がよりそい、「だいじょうぶ、ほらディフェンスががんばろう。」とこえをかけて、はげましていました。

おうえんしながら試合を見ていると、ゆうきをもらいました。なぜなら、どんなに体がふじゆうでも、「やるぞ！」というたいせつでまえむきなきもちがだいじなんだとかんじました。どんなにくじけても、あきらめず、ボールをおいつづければかならず、いいけっかがあることを見ていてかんじられました。ぼくもあんなにすばらしくカッコイイ選手の人になりたいです。



城南中

稲 次 菜々子

私が車いすバスケットの試合を見て一番印

す。観客も楽しませてくれて、会場が一体と

象に残っていることは、「チーム全体でベン

なるようなふんい気になるのがすごいと思

チも含めて試合とバスケットを楽しんでいるな」

いました。タイヤをまわしながらふつうに下

と印象に残りました。どのチームもチーム

リブルをつくのはきついと思います。その中

ワークがとてもよく、声を常に出していて

でも必ず協力しないと勝つのが難しい車いす

チームとしてすてきななと思いました。この

バスケットはとても魅力的だと思いました。

ようなチームになるためにはどうすれば良い

この試合を見てからの経験を今後の自分達の

のだろうかと考えさせてもらえる試合でとて

チームでどう生かしていくか考えながら楽し

も良い経験をさせてもらったと思っ

くバスケットができたらいいなと思いました。

城南中  
手嶋 美紗希

車いすバスケットを観戦して、自分が思ったよ

選手もいたので、きつい練習をしてきたんだ

りスピードがあり、男子の選手も女子の選手

と思いました。

も一緒にぶつかり合って激しいバスケットをして

障害があってもこうしてバスケットを楽しんで

いました。

いる人がたくさんいたのですすごいと思った

車いすで、車輪を回さずに体をひねって方

し、とても強いと思いました。これから、自

向を変えたりすることや、ボールをタイヤに

分もバスケットの練習をしているいろいろなテクニッ

ひっかけてとることなど、選手の方は簡単そ

クなどを身につけて、みんなの力になるよう

うにしていたけど、実際やってみると、とて

な選手になりたいと思いました。

も難しいと思ったし、スリーポイントも打つ

城南中  
松尾安理

私は、車イスバスケットボールを見て、と

年齢とか男女とか関係なくやっているほんと

でもすごいなと思いました。みんなガツガツ

うにバスケが好きなんだなと思いました。2

当たって、ちつともこわがらずにふつうにし

回見たことあるけど、車イスバスケットボー

っていて、しかもそれを中学生ぐらいの男子

ルのルールがよく分からなくてふつうのバス

もしていたのですごいなと思いました。車イ

ケとは全然ちがうんだなと思いました。車イ

スの人たちがみんな声を出して、みんなで協

スバスケットボールの選手の人たちはあらた

力してがんばっているのがよく分かりまし

めてとてもすごいんだなと感じ、尊敬してい

た。

ます。

城南中

杉岡愛悠

この前の大会では、とても熱い試合をたくさん見せていただきありがとうございます。さん見せていただきありがとうございます。た。

私がああ試合を見て思ったことは、どの選手もパスやショットがとても上手で、車いすが激しくぶつかっても、きれいなシュートが打っているのがすごかったです。私は目

の前にディフェンスがいたら逃げて、よけながら打ってしまう時があるので、これからは学んだことを生かして、逃げずにぶつかっていくという気持ちを持ち、ぶつかってもきれ

いなシュートが打てるようになりたいです。

それと、選手の人たちはチーム内での連携の仕方が上手で団結力の強さがとても伝わってきました。なので、私ももっとチームの人たちと話し合ったり、声を出したりして、チームの団結力を深めていけたらいいなと思います。

今回の試合では学ぶことがたくさんあったので、これを今後いろんなところで生かしていけるように頑張っていきたいです。

貴重な経験をありがとうございました。

大 丸 伊 織

私は、去年、車椅子バスケットを初めて生で見ました。

そして、今年は、去年より近いところで見て、とても迫力のあるスポーツだなと思いました。

他にも思ったことが二つあります。

一つ目は、私が想像していたよりも体力と筋力がとても必要だということです。私がやっているバスケットは、体力はもちろん、筋力もかなり必要です。でも、車椅子バスケットは、車椅子をこいだり、座った状態でシュートを打つので、とてもうでの筋肉が必要です。それに10分×4で40分間車椅子をこぎ続ける体

力も必要なので大変だなと思いました。

二つ目は、危険と隣合わせだということ。車椅子で激しくぶつかり合うので、倒れるときは後ろ向きか前向きで倒れます。そのため、いつけがをしてもおかしくありません。

実際、今年私が見に行った試合でも、男の子が一人、救急車で運ばれました。

私は、危険と隣合わせの車椅子バスケットをやっている人は、すごいなと思いました。

私は他にも、この車椅子バスケットを通して、たくさんのことを学びました。

この学んだことを、これからの部活に活かしていきたいです。

城南中  
大丸彩乃

私は、車いすバスケットを見て感じたことが二つあります。

一つ目は、とても激しいということです。

普通のバスケットは、相手に当たって、相手が倒れると、ほとんどの場合がファールになります。でも車いすバスケットは、車いすどうしでぶつかって倒れるのは、当たり前だと言わんばかりの勢いでぶつかり合っていました。

私には、怖くてできないなと思いました。

二つ目は、パスに思いやりが必要だということなんです。

普通のバスケットでも、当たり前のことだけど、

車いすバスケットでは、もつと思いやりが必要だと思えました。理由は、車いすの高さが人によつて違うからです。

実際に試合を見ていると、上からのパスより、下からのパスの方が多いと思えました。それに、ほとんどのパスがピンポイントに出されていて、すごいと思えました。

これからのバスケット人生に、車いすバスケットから学んだことを活かしていきたいです。

城南中  
長 和 優 季

私は、車いすバスケットを見て思ったことがあります。それは、ケガをしていない人でも車いすに乗ってバスケットをしていたことです。どうしてケガをしていないのにわざわざ車いすにまで乗って、バスケットをしたのか、と思いました。

「ふつうに、みんながしているバスケットボールをすればいいのに。」と正直、思っていました。でも、車いすバスケットボールだからその楽しさがあることがわかって、試合をみても「してみたいな」という強い気持ちがちよつと出てきつつありました。

私は、車いすバスケットでこわいと思う場面がありました。ふつうのバスケットは、ぶつかりあってもそんなすごいぶつかり方がないので、こわいと思うことはあまりありません。でも車いすバスケットは車いすがぶつかりあつて、相手をおしたり自分がおれたりするのが見る方でもすごく声が出るぐらいこわいのに、実

際にするんだったら、私はぶつかる勇気がないです。だから見ていて、すごいカッコいいなと思いました。あと、男女関係なく、一緒にプレーしているのもおもしろいなと思いました。

車いすバスケットの人は、うでをきたえていたり、ターンするときに、片方の手でおさえて握力もいるので、とても大変なんだなと分かりました。

自分たちはシュートをうつときに、あたられてシュートをうつとぶれるのに、車いすバスケットの人たちは、車いすどうしでぶつかり、それは通常の何倍もあたるしょうげきなのに、車いすバスケットの人たちは、それでも安定したシュートをうてるのは、なぜだろうと思いました。

来年も車いすバスケットを見たいです。そして、いろんなことをまた、学びたいです。今回は、すごくいろんなことを学びました。

城南中

白石真惟

私は、車いすバスケットを見るのは二回目

人から小学生ぐらいの子供まで参加していま

で、一回目見た時は、まだよく車いすバスケット

した。ゴール下では、激しいぶつかり合いが

トのすごさがわかりませんでした。

あって車いすが倒れたりする事もありまし

ですが今回もう一度見たら、ものすごい競

た。でも敵チームがあやまつたり、手をさし

技なんだなと思いました。車いすをまるで自

のぼして助けたりしていました。

分の足のようにあやつって、自由自在にコー

私はとても温かい気持ちになったし、「やつ

ト内を動き回っている選手の人もいたし、も

ぱりバスケットをやってよかったな」と思い

のすごいスピードで車いすをこいでいる選手

ました。

の人もいました。車いすバスケットには、大



武居真希

車イスバスケットボールを観戦して一番驚いた事は、男性と女性が一緒にプレーをしていたことです。そして女性と男性がほぼ同じ位、迫力のあるプレーだったことです。試合に出ている人たちは、私に『諦めずカバーし合う』ということを教えてくれました。たとえば車イスが倒れてもふんばって起きる、仲間がミスをすればたとえきつなくても責めたりせず、はげましたり、フォローし合ったりしてお互いをカバーしている場面が多々ありました。私はまだまだ体力も技術も全然なく、カバーするどころか、皆に迷わくをかけてしまいます。引退するまでこのままは絶対に嫌だなどと考えていた時、丁度車イスバスケットの

試合がありました。その時、私は思いました。「私が目指すべきはこの人達だ!!」と。人任せにせず、自分で何とかする。でも時には出来ない事があると思います。そんな時は、誰かを頼ってもいい。でもフォローしてくれた人のカバーも忘れずに行うこと、これが私が本当に目指していた姿だったとはつきり確信しました。今回たくさんの試合を観戦&応援しました。どれも勉強になることばかりで1日じゃ足りないくらいでした。いつもしているバスケじゃないのでその分、たくさんの疑問がありました、だから疑問を一つでも多く発見に変えるためもっとバスケを勉強して、いつか試合に出れる様になんばります。

# 【諏訪中学校】



古賀 優希



谷山 千瑛



吉野 桃子



川口みさき

遠藤奏羽

私は、車いすバスケットを見て思ったことは、とてもすごいなと思いました。なぜかという、車いすどうしがぶつかっていつたおれるかわからないのにいっしょうけんめいやっているところがすごいと思いました。

足が動かない人などがいるのにたおれるのかもかんけいなしで一生懸命やっていて、ただでさえあぶないのに点取などをしているところがすごいなと思いました。そして、車いすバスケットを見て心に残ったことは、試合中にプレイヤーが出していた声です。なぜかという、ディフェンスのときなどに、「ボールマンつくよー」などと言って仲間知らせてあげたり「く番ついてー」という声かけをして、指示をしたりして、守って点を取らせないようになっているところがとても心に残りま

した。オフenseのときも、「く」に走ってなどと声をかけて仲間に動いてもらったりしているところを見て、やっぱり声を出すことはとても大切なんだなと思いました。それに、車いすバスケットの人はまわりを見て動いていたのでそこもすごいなと思いました。ディフェンスにもどるときなどはやめにディフェンスにもどって守る準備をしたりするところがやっぱりすごいなと思いました。

私は、車いすバスケットを見てたくさんのことを学ぶことができました。これからの練習でできることがあるのでやっていきたいなと思いました。とくに声出しは、日ごろの練習の体操のときからできるのでがんばってやりたいです。

諏訪中

## 吉瀬七海

新しくできた久留米アリーナで車イスバスケットを観戦して、私はたくさんのかんじを感じたことや分かったことがあります。

一つ目は、一人ひとりが声を出して確認をしながらプレーをやっていたことです。ディフェンスは毎回マッチアップの確認をしたり制限区域内にオフエンスが入らないように体をはったプレーがいくつか見られました。そこで私が分かったことは五人全員がチームメイトを見て指示を出していることです。なので、自分もチームメイトを見ながらプレーしたいと思いました。二つ目は、車イスバスケットは初めてみたとき簡単そうにプレーをしていたので簡単にプレーできるかなと思いました。が実際にやってみると想像以上にとても難しく、決してできませんでした。シュートを打つとぜんぜんとどかなくて自分がどんだけうで

などの力がないかなどが実感させられました。三つ目の分かったことは、障害をもっていない人でも車イスバスケットでプレーをしていました。それを見て私は、ビックリしてしまいました。車イスバスケットは障害をもっていない人でも幅広い人たちがプレーできるということが分かりました。

私が、車イスバスケットを観戦・やってみてわかったことは常に声出してチームメイトを支え合ったりしながらプレーをしていることと車イスバスケットは幅広い人たちがプレーできるということでした。やってみて分かったことは想像以上に難しくプレーをやりながら指示を出したりするのはもっと難しいと思いました。私はこれからプレーができることに感謝し、声を出しながら試合中でも会話をしながら試合にのぞみたいと思いました。

諏訪中

## 久 樂 万 菜

私が車イスバスケットを見て思ったことは  
やっぱりスポーツっていいなということ  
です。

私はもともと走ることが好きで、五年生で  
陸上、六年生でハンドボールをして、中学校  
で初めてバスケットボールをしました。私以  
外は経験者で、ついていけるかとても不安で  
した。今もまだみんなには実力は劣るけど、  
やっぱりスポーツをすることは楽しいと思  
います。

私が海上に行つて初めて思ったことは足が  
不自由つて大変だなと感じました。車イスバ  
スケの大会に出る人が車から降りてきて、競  
技用の車イスを運んでいる時も、車イスを持  
ちながらこいで、車イスを落としたりしてす  
ごく大変そうにしていました。後で先輩達を

見て、こぐのも精いっぱいだというのに、試  
合ですごく速く移動しているのを見て、すご  
いなと思いました。

また、試合中に、普通に起き上がって（立つ  
て）いる人を見つけた時に、なんで立てる人  
が車イスバスケをしてるんだろうと思いまし  
た。だけど、足が不自由な人もそうでない人  
も一緒になつて楽しめるスポーツなんだなど  
思いました。車イスバスケットボールでは、  
もちろん当たったりすることもありますが、相  
手のことを思いやつて倒れないように当たつ  
たりしていたところがいいと思いました。今  
の私には相手を思いやつたりする心がまだ足  
りてないので、相手のことを考えてパスをし  
たり、プレーしていきたいなと思いました。

諏訪中

## 佐野美都

私は、先日車イスバスケットを見に行き、実際に体験してみました。以前、見たことはありましたが、自分が体験するのは初めてで緊張していました。私が車イスバスケットを見ているとき、タイヤを回して前に進むのにはけっこう力があるんだろうな、と思いました。けど実際やってみると、思ったよりも軽くて、一回こぐだけでだいぶ前に進んだのでびっくりしました。だから、車イスバスケットにつくられる車イスなのか調べてみると、競技用につくられている車イスで、ローポイントとハイポイントがあり、障害の重さによって違うということが分かりました。私が車イスバスケットで魅力的だなと思ったことは、車イスバスケットならではのタイヤがキュツという音や金属音のガシャガシャという音です。特に、ぶつかったときの金属音は車イスバスケットでし

か感じれない音なので、特別に思いました。そして私が何よりもすごいと思ったのは、チームの雰囲気や空気です。なぜかというところ、試合中では全員がチームメイトに声をかけて、マッチアップでも全員で声を出して確認をしているからです。そして、ベンチに戻ってきたら、ハイタッチをしたりして、モチベーションをあげていて、みんなが本気でバスケットをしていることが分かりました。それは、チームの一人一人がたくさんの経験をつんで、車イスバスケットをしているからだと思うし、そんな一人一人がバスケット向き合っているチームをみると、もっと頑張ろうと思うことができました。そんな、人に影響をあたえることのできるプレイヤーを私はとてもかっこいいと思います。

出口 莉 沙

先日、久留米アリーナで行われた車いすバスケの試合を見に行きました。私は車いすバスケを見て、色々なことを発見し、学ぶことができました。

一つ目は、選手同士が試合中絶えずコミュニケーションをとっていたことです。チームメイトが失敗しても、お互いはげましました。デイフェンスのマッチアップも声をかけ合って確認したりしていて、チームの団結力がすごく伝わってきました。私はいつも自分のことばかりで周りのことまで意識できないので、しっかり周りが見られるようになっていたと思いました。

二つ目は車いすバスケが障害者も健常者も、みんなが楽しめるスポーツであるということです。選手の中には、普通に立って歩け

る人も車いすに乗ってプレーされている方もいました。車いすバスケは、人と人の壁をつくらぬすばらしいスポーツだと思いました。

三つ目は、味方や敵など関係なしに選手全員が助け合っていたということです。車いすバスケは、選手同士が車椅子をぶつけて、コタクトを取ります。そこでときに、選手がバランスをくずしたおれ、立てなくなるときがあります。その時コートに出ている全員の選手が手をかして立たせます。私は、その姿に感動したし、すばらしいと思いました。

今回の車いすバスケ観戦は、色々なことを発見・学ぶことができ、とても貴重な経験になりました。今回、得たものをこれからの部活動や生活に生かしていきたいです。

森 彩 加

九月一日土曜日、私は、新しく出来た久留米アリーナに行きました。施設の中はとてもしずかいデザインがされているという工夫がありました。体育館の中は、とても広くて、きれいにされてありました。

長い開会式が終わった後に、一試合目の準備と、選手のアップが行われていました。アップの時もみんながやるような、ストレッチやドリブルシュートをしていました。アップが終わって試合が始まりました。

私の試合を見ての感想は、リングの高さが一般の競技の高さと同じ3m5cmのリングにボールが届いてシュートが入るといふ所が、とてもすごいと思いました。私は、小学校四年生の時に『バリアフリーの心』という授

業で、アイマスクを着けて歩いたり、車椅子に乗って、学校を一周するという貴重な体験をしました。その時車椅子に乗って分かったことがあります。それは、「動かし方が難しい。」という事です。それと比べると、バスケットボールは、スピードや判断力が必要なので、私にとっては、すごく難しい試合になると思いました。

見た目では、簡単なプレーをしているように見えるけれども、一つ一つのプレーが難しいんだなと思います。

もしも、私の足が不自由になってしまったら、車椅子の生活になってしまうので、今、車椅子生活をしている人々は、すごいと思います。



諏訪中

## 西 林 ゆづき

私が今回、車いすバスケットを観戦して感じたことは2つあります。

1つ目は、選手たちのある行動がとても印象に残りました。それは、ゲーム中に選手が車いすごとこけた時です。私は、同じチームの人が助け合うと思っていました。でも近くにいた、相手チームの選手が、「大丈夫か。」と声をかけながら、自分の車いすをかして、立ち上がる手伝いをしていました。ゲームの中に相手チームを思いやる行動があつてすごいと思えました。自分のチームの人に思いやる、気くばりするだけでもとても難しいことなのに、選手たちは相手チームのこととも考えて、気くばりできていて本当にすごいと思えました。

2つ目は、実際に体験して感じたことです。最初は、とても難しそうだなあと思っていました。でも実際にやってみると、とても楽しかったです。でもシュートを実際にうつてみてうでの力がどれだけ必要なかが分かりました。足のバネが使えない分、うでの力だけでボールをうたないといけませんでした。本当に車いすバスケットボールの選手はすごいと思いました。

私が最後に思った事は、障害がある、ない関係なく、あんなにバスケットというスポーツを楽しんでほしいと思つたし、かっこいいと思いました。私も、バスケットをプレーするだけではなく、楽しんで、これからバスケットをしたいです。

川口みさき

私が車椅子バスケットを見て感じたことは、声を出して、自分がどこにいるのか、自分が何をしているのかを仲間に伝えることがとても大切だということです。

車椅子バスケットは普通のバスケットに比べて、ノーマークがつくりやすそうだなと思います。だから自分は見えない部分、動けないところを声を出して伝えていました。声を出して伝えることで、ミスマッチができなくなっていて、やっぱり声かけがたくさんあるチームは強かったし、少ないチームはディフェンスでのミスが多かったように感じました。技術的な差も多数はあったと思いますが、声などの差が大きかったと思います。それは、車椅子バスケットだけに言えることではなく私たちにも同じことが言えます。車椅子バスケットに比べて私たちは広く見えるけど、それでもす

べてが見える訳ではないので声で伝えることが大切だと思います。声で伝えることは、相手に聞こえるよう大きな声で言わなくてはならないし、自分の伝えたいこともなるべく短い言葉で相手に伝えなければいけないし、難しいと思いますが、声を出すことでスイッチアップのミスとかも減ると思うので私たちも声を出すことを意識してこれからやっていきたいです。

今回車椅子バスケットを見てすごく迫力があつたし、たくさん声で伝えていて、ミスも減っていたのですごいなと思ったし、私も学ぶことができました。私たちもこれからチームでもっともつと声を出して、今よりもつと上を目指せるチームになるようがんばろうと思いました。

諏訪中

## 早川 彩音

私が車いすバスケットを観戦して障害があっても自分のやりたいことをしてるときが一番楽しいんだなと思いました。

なぜなら、車いすバスケットをしている人たちは何かしら手足が不自由だったり、体がうまく動かすことができない人がやっています。それでもその人たちは、自分がやりたいことを一生懸命にやっているからです。普段自分があたりまえのようにしているバスケットよりチームとのきずながとても深いと思えました。

誰かが転倒してしまったらチームの人が手を差し伸べている姿を見て私ももっとチームを大事にし、今自分たちに足りていない指摘することや心かげることがとても大切だと感じました。まだまだできることもあるから

と強く自分にもチームにも追求していくべきだと感じました。

そして、私は初めて車いすバスケットを実際に体験しました。選手の人たちがプレーしているのを見ると、車いすを手でこぎながら移動するのは割とできるんじゃないかと思っていました。でも実際に試合をしてみると、ボールを持った状態で移動することが全くできず片手でうまく移動しようとしても変に回転するだけだったし、シュートもリングにとどかないぐらい難しかったです。あんなに重くて難しい車いすであればどのスピードを出して、パスをさばいてシュートまで行くのはとてもすごいなと思いました。

この観戦・体験をいかしてもっとバスケットと深く関わっていこうと思いました。

諏訪中

## 武井優羽

私は、久留米アリーナで、車イスバスケットを観覧した。選手の中には、片手でしている方や、車イスで転んだらなかなか起き上がれない方など、それぞれに不自由をかかえている人達ばかりだった。しかし、車イスと選手の方々が一心同体で、まるで自分の足のよう

に動かして懸命にバスケットをしていた。実際、私が体験してみると、車イスを上手く扱えず、選手のすごさがとても分かる体験になった。

普段私が所属しているバスケットボールチームでは、何の不自由もなくバスケットをすることができている。

しかし、人間関係のトラブルでバスケットが出来なくなったことがある。でも、車イスバスケットの選手の姿を見て、不自由がない私達がこ

んな事でバスケットが出来なくなったことが急にはずかしくなった。そして、申し訳ない気持ちになった。だから、このようなことを二度と起こしてはならないことだと私は強く思った。

今回の車イスバスケットボールの選手の方々から学んだことは、自分は、何の不自由もなく、大好きなバスケットをすることが出来ることに、しっかりと感謝をし、不自由でないことは、決してあたり前ではないということ

を学んだ。  
これから、今回、学んだことを忘れずに一杯バスケットに取り組み、感謝の気持ちを持って取り組もうと強く思う。

福嶋 咲也香

私は、部活で、車いすバスケットの試合を見に行きました。今まで、テレビなどで、少ししか、見たことがなかったので、あまり、車いすバスケットについて、深く考えたことがありませんでした。でも、この車いすバスケットの、試合を見たことで、たくさんのことが学べて、改めて、自分を見つめ直すことができました。

初めて見る車いすバスケットの試合。とてもわくわくしていました。会場に着くと車いすの選手が、車からおりて一人で荷物を準備し、会場に向かってるのが見えました。私はそれを見て、とてもびっくりしました。選手には、手伝う人が、いつもついていると思っていたからです。私は、不自由な体なのに普通に自分のことを自分でやっている選手にとっても感心しました。

会場の中に入ると、選手が、アップを始めていました。選手のスピードはとても速くてびっくりしました。開会式が終わわり、試合が始まると、とても速いパスを回して、あつという間にシュートをきめていました。間近で

見ると、とても迫力がありました。試合は、激しく、ぶつかって転んだりしていました。「怖くないのかな。」と心配になりました。また転んだ時、味方や相手の選手が手を貸して、素敵だなあと思いました。

試合が終わった後、私は出られなかったけど先輩も参加する車いすの試合がありました。先輩は、全員、難しそうな顔をしていました。ボールをもらって、進もうとして、右をこいで、左をこいでとしていると、変な方向に行ったり、シュートが高くて、とどかなかつたりなど、難しさが見ている方にも伝わってきました。そこで改めて、選手達はともすごいし、立派だなと思いました。車いすにのってバスケットをするのは難しいし、きついし怖いけど、仲間と協力してバスケットをしていることにスポーツっていいなあと、とても感動しました。

私は、これから、つまづくこともたくさんあると思うけど、選手達みたいに、諦めず、仲間と手を取り合って、全力で、がんばっていききたいです。

野 元 藍

私は車いすバスケットボールをはじめて見ました。そして、操作をするのがむずかしそ

うなのに、はやく前に進めたり、まがれたりしていたのですごいと思いました。ほかにも

すごいと思ったことは、試合中にディフェン

スがオフENSEのいどうするのをとめたりす

ることができることや試合中にたおれたりし

たら、人の力をかりずに自分でおきあがろう

としているところがすごいと思いました。

そして、座ったままシュートをうって、と

どいていたのでうでの力があつてすごいと思

いました。私はまだ3ポイントからのシュー

トが、とどくときと、とどかないときがある

ので、うでの力、てくびのひねりをちゃんと  
して、いきたいと思いました。

車いすバスケットボールは障がいをもって

いない方でもできることをしりました。前ま

では足が不自由な方や、障がいをもっている

人しかできないと思っていたけど試合を見て

いたら、立っている人を見てから、足が不自

由な方や、障がいをもっていなくても車いす

バスケットボールができるということをしり

ました。そして選手の方たちが、あきらめず

にがんばっていたので、自分もあきらめずに

がんばろうと思いました。

# 【青陵中学校】



村木 菜乃



中山 侑香

青陵中

松尾波奈

私は、車イスバスケットボールの試合を見

は走る時や、シュートを入れる時もうでを

て、とてもスピードが速く、回転したりぶつ

使って動かさないといけないから、あんなに

かり合ったりなど迫力があってびっくりしま

りっぱな筋肉のついたうでだったんだと思

した。そして、シュートをする場合プロの人

いました。また、試合の休けい時間の時にハ

達は軽々と入れていてけど、体験している人

イタッチをしていました。試合中では、チー

を見てみると、なかなかゴールのリングの高

ムプレーがうまくて、とても楽しそうに見え

さまで上がらず苦戦していました。低い位置

ました。

からジャンプもせずに手の力だけでシュート

私達のチームも一つになって楽しくプレー

するって難しいなと思いました。車イスの人

出来るようになりたいと思いました。



青陵中  
森 光 輝 歩

私は、車いすバスケットをテレビでしか見たこ

かけているので、普通のバスケットかわらない

とがなくて、その場で見れたことがとてもう

なと思ったからです。

れしかったです。

私たちチームが強いチームになるために

そこで学んだことは、スポーツは障害など

は、みんなで声をかけ合い、時にはきびしく

関係ないことを学びました。理由は、みんな

注意し合うことが大切だと思いました。

が一生懸命、プレーして、シュートが決まら

車いすバスケットを見て、車いすをおしながら

なかったら、「ドンマイ」「次がんばろう」な

バスケットするのは、すごいなと思いました。

どと声をかけたり、ディフェンスのときいい

とてもいい経験になりました。

カットができたなら、「ナイスカット」と声を

青陵中

村 木 菜 乃

私は車いすバスケットを初めて見て、気づいた  
事や感じる事がたくさんありました。

まず、車いすが普通の物とちがう事に気づ

きました。倒れにくくされていたり、けがを

しにくいように工夫されているなどと思いまし

た。そして、私は選手たちがチームにしてい

る声かけや、指示に注目しました。仲間がミ

スをして励ますことがチームとして大切な

事だと感じました。なので、選手がしていた

チームへの声かけなどをたくさんまねして、

これからの試合や練習に活かしていきたいと

思います。

私は、車いすバスケットを見て、足が不自由な

人でも、チームのみんなと協力したり、楽し

んで、できるスポーツがある事が分かりまし

た。この、車いすバスケットで学んだ事をたくさ

ん活かして、これからの、練習をがんばって

いきたいです。

青陵中

谷口綾花

私は車椅子バスケットを見て、まず思ったのが

いために工夫して作られているところがすご

障害を持っていてもバスケットを一生懸命やって

いと思いました。

いてすごいと思いました。

車椅子体験を見ていて、プロの人は普通に

あと車椅子の試合を見ていてたがいにぶつ

シュートは入るけど、初めての人は、あまり、

かりあって、いたかったり、車椅子がこわれ

リングまでとどかなくてシュートもはいつて

たりしないのかと思っていました。それに車

なかったので、プロの人は、障害者じゃない

椅子には色々な工夫がされてあって、前まで

人よりも、努力していたのがとてもすごいと

なんでタイヤがななめなのかずつとふしぎな

思い、私もそのくらい努力したいです。

のか考えていたんですけど、それがたおれな

青陵中  
中山侑香

今回のイベントに参加させて頂いて、まず

なと思いました。

私が思ったことは、私が動かす事も満足にで

選手の方々にこれから生きていく上で、背

きなかった車椅子に乗って、あんなに激しく

中を押していただいたような気がしました。

しかも笑顔でバスケットができることがすば

今までに経験したことのないような貴重な

らしいなという事です。

体験をさせていただき、ありがとうございます

選手の皆さんの努力を考えれば、今私が抱

した。この経験をもとに私も勇気を持って、

えている悩みなどはとてもちっぽけでほんの

行動して選手の方々のように夢を実現できる

少しの勇気があれば解決できるようなことだ

ように努力していきます。

田子森 万凜

車いすバスケットを見るのは、今回が初めてで

と言ってはげまし合っていました。その姿が

した。車いすバスケットは、見てて迫力があり、

すてきでした。休けいの間にも、ハイタッチ

ぶつかり合ったりして試合をしてました。二

をして元気を取り戻していました。また、仲

チームもプロの選手でスピードがすごく早

間たちが笑わせていてその選手も、笑顔を取

かったのを覚えています。オフエンスから

り戻していました。その姿を見て、チームワー

ディフェンスに変わる時は手を動かしてすば

クがいいなと思いました。また、仲間の応援

やくゴールを守っていました。しかし、福岡

が勇気や元気を与えてくれるのだと思いまし

のチームが点を入れてきました。その時、仲

た。だから、これからも仲間に応援しようと

間が自分たちのチームに

思いました。

「うんうん。うんうん。」

南 陽 奈

私が車いすバスケットをみて感じたことは、何

かったり、せもたれがなかったりと、ふつう

かあつて障害をかかえているのに、その障害

の車いすとはちがうところがたくさんありま

をのりこえて、車いすバスケットというスポーツ

した。

をしていることはすごいと思いました。普つ

この車いすバスケットを見てから、バスケット

うのバスケットと同じゴールの高さで、ゴールを

に対する思いが変わりました。バスケットは、

決めたり、フリースローを決めたりしていて

努力して、あきらめない心があれば、勝てる

とてもすごいと思いました。車いすバスケットの

かもしれないと思いました。その心と、努力

車いすは、ふつうの車いすとちがひ、タイヤ

で、練習して、大会に向けてがんばりたいと

がななめになっていたり、タイヤの数が多

思いました。

青陵中

平 田 理 恋

車椅子バスケットボールを見ていて、車椅

て、いい経験になったと思います。車椅子で

子バスケットボールをやっている時に倒れて

バスケットをするのは、難しそうだなと思ってい

いたりしていて、見ている側もこわかったけ

て、実際にやってみると、車椅子を動かした

ど、シュートが入ったりした時は、すごく楽

りするのがとても大変でした。プロの方達は、

しそうにしていたり、同じチームの仲間と笑

すごく上手で、声のかけ方とかも、私たちと

い合っているところを見てすごく楽しそうで

は違っていると思いました。車椅子バスケット

した。そして、車椅子バスケットボールの体

トボールをやって、すごく貴重な体験ができ

験もして、同じチームの人とも協力したり、

嬉しかったです。またやりたいです。

相手チームと戦ったりするのもすごく楽しく

青陵中

堀 江 ひなた

車イスバスケットをみて、年れいや 性別もち

同じチームとして出場していて、とてもがんば

がうのに、とてもチームワークが良くてすご

ばった練習を積み重ねてきたと思うので、私

かったです。体に障害をもっているけど、自分

ももつとがんばらないといけないなと思いま

で自分の体をいかしている姿をみて、とても

した。車イスバスケットを通して、あきらめない

やる気をもらいました。応援する時ももつと

ことの大切さが分かりました。自分のことを

大きい声をだそうと思うような試合でした。

知ってもらって、仲間がよりそっていて、試

観ていて、私達も楽しかったです。障害のあ

合をとおしているいろいろなことを学びました。

る人と、ない人が同じように試合にでたり、





青陵中  
矢 永 あずみ

障害をもっている人のバスケットをみて、すごいと思いました。足が不自由なのに、じしんをもつてバスケットをしている姿をみてとてもかっこいいと思いました。そして選手の人はずっと笑顔でした。実際にやってみて、ほうこうてんかんなどがむずかしくて、おもいどおりになりませんでした。それをすばやくしている選手はすごいと思いました。シュートをうつてみると遠いし高いので、とどきませんでした。手の筋肉がすごかったです。



# 【筑邦西中学校】



井上 凛美



諸富 花琳

筑邦西中

井 上 凜 美

私は、最初、車椅子は、とても簡単なやつで、

障害をもっている人がするんだなど、すごく

馬鹿にしていました。車椅子バスケットを見に

行ったときは、すごく反省をしていました。

なぜなら、私は車椅子を見る前までは、すご

く、みんなどうせ下手くそだと思っていたか

らです。なのに、車椅子のバスケットを見たらす

ごく上手で、シュートも、どんどんきめてい

く姿を見て、私はすごく反省をしています。

車椅子でバスケットをしているみなさん、下手

くそとか、思っていてごめんなさい。私は、

車椅子バスケットをしているみなさんをしてとて

も上手な人達だなど思いました。車椅子バス

ケットをしている人は、たおれても、仲間の力や、

自分の力でおきあがる姿を見て本当にすごい

人だなど思いました。

私がおもひ、けがをしたりして、ふつうの人

と、バスケットが出来なくなったら車椅子バスケット

をしようと思っています。私がおもひけがとか

して、車椅子バスケットをするときは、今の車椅子

をしてしている人みたいに、上手になって、

シュートをどんどんきめれるように頑張りたい

いです。私がおもひ車椅子をするときはよろしくお

願います。本当に、最初、下手くそとか、

馬鹿にしてごめんなさい。

筑邦西中

## 幸 川 ひかる

私は、車いすバスケットの試合を見て、すごいと思ったことがたくさんあります。オフェンスもディフェンスも、私達みたいには、できないけど、車いすを上手に使って、うまくやってみました。とても難しそうだったけど、選手のみなさんは、みんな笑顔でプレーをしていました。相手なのに、仲良く話したりもしていました。

バスケットができるのは、戦う相手がいるからなので、私も相手に感謝し、楽しくプレーできるように、がんばりたいです。

車いすバスケットは車いすを手でこいで、

進み、手の力だけで、シュートします。だから、うでは、ものすごく力がないと、上手にシュートがはいらないし、体力がないと前にも進めません。

だけど選手の人たちは、40分間、笑顔で何も変わらなかったのですすごいと思います。誰でも10分間の試合はきついと思います。でも、そのきつさを表情に出さないのは、やっぱりすごいと思いました。いいところもたくさんで、みならいたいところもたくさんあります。少しずつでも、まねできたらいいと思います。

筑邦西中

山下直美

私は、車いすバスケの試合を見て、障がいをもっている、自分らしいプレーをしたりして、とてもかがやいていると思いました。足が片方ないかたがたおれたりしたら、周りの人チームメイトが足をちかずけて、ひざなどで助けていました。私は、その助ける姿を見て、周りのかたがたの優しさを感じました。また、両足がなく、両手とも指が2本ずつしかないからいらっしやいました。そのかたは、自分もっている障がいを忘れているようで、プレーを見ていると、とても障がいをもっているかたには見えませんでした。片手だけしか使えていないかたもいらっ

しやいました。そのかたは、周りのかたよりも、倍動いていらっしやいました。片手だけで、車いすの車輪2つを動かさないといけません。こうごに強く車輪をまわしていらっしやいました。ボールが前にとんできたら、それを全力でおいかけてらっしやいました。他にも、足が動かさなくてけいれんをずっとおこしているかたなど、さまざまな障がいをもっているかたがいました。障がいをもっているかたでもこんなに一生けんめいがんばっている。私は、試合を見て、今自分にできる事を一生けん命頑張ろうと思いました。

山 田 麻 央

今日の車いすバスケットの試合をこの目で見てすごいと思ったことは、車いすと車いすのぶつかり合いでした。車いす同士がぶつかり合うと、たおれたりしそうで、すごくドキドキしました。でも、そこが車いすバスケットを観戦するときのおもしろさだと感じました。もう1つすごいと思ったことは、シュートが入る確率が高かったことでした。フリースローラインからシュートを打つても入るし、レイアップシュートやリングから少しはなれたところからのシューとがとても入っていたので、この人たちはたくさん練習してきたからこそ、シュートの確率が高いのではないかと思います。このことからきつい練習でも、がんばって練習すればバスケットが上手になれるということであらためて感じました。私は今日車いすバスケットを体験させてもらいました。初めは車いすをこぐのに必死だったけど、だんだんなれてきました。座ったままシュートやパスをもらったりなど、一つ一つのプレーが難しかったです。なので、車いすの選手は今までがんばって練習をしたんだなと感じました。

酒 井 百 々 果

車いすバスケットボールを見て感じたこと。

試合を見て、しょうげきが激しくて、たおれる人もいたから少し怖いという気持ちが初めはあった。でも、その試合や試合にでている人を見ると、足をけがして失った人などがいて、やっぱり悲しい気持ちにはなつたけど、それでも失った時、心は大丈夫なのかなとか思うけど、試合にでてるからすごいと思った。みんなの車椅子バスケットボールの体験を見て、こぐ力はとてないと分かった。体験から帰ってきた子が「全然前に進まん」と言っていたから、見ためではそんなに力がいりそうにはなかったけど、その言葉を聞いて力はともいるんだと思った。スピードも速くてビックリした。もし、自分が足を失って車椅

子バスケットボールの人たちみたいになつていたらと考えるとやっぱり私は、できないと思った。なぜなら、足を失ったあまり、シヨックをものすごくうけてそれ所じゃないと思うからです。でも私とは逆に、シヨックをうけた人もいると思うけど、たちなおり自分がないということを見つけていく。そんな所がすごいと思う。車椅子バスケットボールの私たちはこれからも試合をしていく中で、ぶつかってたおれたり、すると思うけど、自分でのりこえていくのかなと思った。車椅子バスケットボールの人たちも練習や試合をがんばっているから自分達もがんばる。車椅子の人たちと私たちはあまり差とかそんなのないし、同じ人間なので、これからがんばりたいです。

筑邦西中  
諸 富 花 琳

私は、車いすバスケット九州大会を見て、気づいたことは、試合開始は、ジャンプボールから始まるけど、車いすではとべないから、スローインから始めるのかと思っていました。だけど、ジャンプボールからはじまり、普通に試合が始まったので、ルールがあまりかわらないことが分かりました。

車いすでは、パスをする力とシュートをうつ力、車いすをこぐ力がいりとてもうでの筋力があることが分かりました。ボールをもつたまま車いすをこぐのは、とてもむずかしそうに見えました。車いすと車いすがぶつかる、しんどうでとてもいたいと思つたし、たおれた時は、自分でおきあがれたり、自分で

おきあがれない時は、周りの人や相手チームが手伝っていたからみんなでたすけあいながらバスケットをしているのが分かりました。DFをしている時センターに入ろうとしている人を2人でとめていたのでそれはとてもいいなと思ひました。

シュートをうつ時、すわつたままでも、とてもきよりのあるのに、ふつうにリングにとどいて、すごい力とか、スナツプのつかい方が上手だなと思ひました。バスケットが好きだという気持ちをはけて変わらないうだなどあらためて感じる事が出来たと思ひました。この思ひを忘れずに頑張りたひです。



筑邦西中

## 小嶋美月

車いすバスケットを見て、わかったことは、足がない人や片手がない人が車いすにのってバスケットをできることがわかりました。

車いすをこぐ力、シュートをうつ力、パスする力で、うでの力がとてもいることがわかりました。車いすにのっていて、こけて立ちあがらない時に助け合うことが大切だとわかりました。けがが重い人や軽い人に車いすの高さがわかれていることがわかりました。車いすと車いすがぶつかって転倒する所をみて怖かったです。ふつうにバスケットする人と車いすでバスケットをする人のルールが少しちがって私たちからはかんたんそうに思いました。しかし、私が車いす体験してみると、自分がいききたい場所にうまく車いすをまわさせません

でした。またシュートをうつ時、パスを出す時にすわってうつから、むずかしかったです。車いすには、指と指がぶつかってけがをしなないようにかたかなのハの字に工夫されて作られていました。なれてくると楽しかったです。ボールをもったまま、シュートに行くとボールをふとももの上におき車いすを2回うごかし、ドリブルをつくことはむずかしかったです。この日でわかったことは、障害者でもあきらめなければ、スポーツややりたいことができるとうわかりました。

私は体験してみてもとてもむずかしかったのでたくさん練習してるんだなと思いました。

筑邦西中  
双 原 有 希

車いすバスケの見学をしてふつうのバスケ

なかったりして車いすのバスケはたいへんだ

の試合よりもはげしくてたくさんぶつかり

なーと思いました。車いすのバスケの人た

あつてたおれたりしていてとてもびっくりし

ちはふつうにしてるので簡単なのかなと思っ

ました。車いすバスケもみるまえはふつうの

たけどむずかしかったのでコツとかあるのか

バスケよりゆっくりであまりぶつからないの

なと思いました。車いすバスケをみて足がわ

かなと思っていたけど予想とちがったのでと

る人でもこんなにはげしいプレイができて

てもきょうみをもってみました。

車いすのそうさもすばやくできていてすごい

体験交流のときに車いすののつてやってみ

なと思いました。車いすバスケみたいなはげ

るとそうさのしかたがむずかしかったりす

しいプレイができるプレイヤーになりたいと

わったままシュートをうったりしてもとどか

思いました。

倉吉心遥

今日、開会式で言われたように、「残った

物を生かすんだ。」と聞き、私は、実際に、

足が2本ともなく、手が両手合わせて、4本

しかない人を見て、残った、4本の指を使っ

て、車いすを、一生懸命動かして、シュート

を打っている人を見て、とてもすごいと思

いました。他にも、足が細い人や、きれい

をおこしている人なども、見ました。もし、

自分が、障害者だったとしたら、絶対に、回

りの人の目が気になって、バスケしようと思

うことはないと思います。試合中にも、一人

がこけたら、相手チームでも、仲間でも関係

なく、助けてる姿を見て、みんな優しいなと

思いました。私も、いじめられたり、こけた

りしてない人などがいたら「大丈夫？」

といえる人になりたいです。これからも、車

いすバスケを見て感じたことなどを忘れず

に、どんどん、生かしていきたいと思いま

した。

池田理菜

車いすバスケットを見る前は、ぶつかって倒れたりして大丈夫なのかなとか思ったりで不安がいっぱいありました。開会式には色々な人がいて、やっぱりリングは、自分達と同じぐらいのリングの高さで届くのかなと思いましたが。車いすを見てみたら高さはバラバラだし、後ろのタイヤの数もちがいました。そして、車いすバスケットを見て見たら、思っていた通りにぶつかったりして倒れる人もいました。自分のうでの力で起き上がる人もいたし、仲間の人から手を差し出され起き上がっている人もいました。プロの方は、ふつうにドリブル・シュートをしていたけど、中学生がしてみる

と、シュートは届いてなかったし、ドリブルも難しそうだし、みんな共通は、車いすのそのじゅうでした。プロの人達は、走ったりすることが出来ず、自分たちよりも、いっぱい、いっぱい練習してきていると思います。プロの人達、全員、笑顔がたえなくて、みんな楽しそうでした。私も来年、もし車いすバスケットがあつたら、やってみたいと思いました。私は、車いすバスケットを見て学んだことは、一人出来る事、出来ない事はそれぞれ違うし、出来ない事をすぐに諦めるんじゃないで、最後まで諦めずにがんばっていこうと思いました。

筑邦西中  
田 中 愛 梨

今日、車椅子バスケットボールをみての感

知ってほしい。心からそう思いました。

想は、「とにかく面白い。そしてめちゃめちゃ

世の中には、いろんな人がいて、その人達

かっこいい」純粋にスポーツ観戦として面白

それぞれの楽しみや幸せがあつて、それぞれ

い。技と力のぶつかり合う肉弾戦。日本一を

見える世界が違っているのに、私の見ていた

決める大会となると当然レベルも高い。目の

世界は狭いなあと思いました。選手の方々は、

前で繰り広げられるゲーム：ボールが飛び交

熱中できることに出会い、笑顔でプレーして

うスピード感、車椅子が走る、廻る、時にぶ

いて、それをみれて良かったです。

つかり合う迫力（一方でそれを起こすときの

私も今日、実際に体験してみただけど、まわ

両チームの選手の振舞い）に目が釘づけにな

るのもむずかしかったし、前に進むのにとて

り、興奮しました。何より選手たちが、とて

もむずかしかったです。今、できることに感

もかっこいい。何より、たくさんの人に観て

謝し、1つ1つがんばりたいです。

筑邦西中

田 中 華 玲

私は車イスバスケットボールを見て障がいをもっている人でもがんばってプレイをしているすがたがカッコイイなと思いました。車イスでうごくのはとてもむずかしそうでしたし、相手などとぶつかり合った時に、けいれんをおこしたりしても自分の力でたととおもう勇氣はとでもすごいなと思いました。なのでふつうにバスケットをやっている人は、車イスバスケットの何倍もがんばらないといけないと分かりました。

一人一人のがんばっているうしろ姿やカッコイイシュートのうちかた、リフエンスのまもり方など、自分がたりない所を、まねしてこれから試合などいろんな所で活やくしてきたいです。体験をしているのを見ているだ

けでももしょんしゃはこぐのでせいっぱいのようなきがしました。手の力が弱くシューともとどかない人もなかには、いっぱいしました。その体験の姿を見て、私はこれまでやってきた練習は、ぜつたいにうらぎっていないなと思いました。

私は車イスバスケットボール大会を見て、楽しそうにやっているチームの笑顔や、一人の個人できな一対一のじょうずなプレイ、コミュニケーションなどいろいろと自分ができるかぎりのことはちゃんとまねしてまよりも一歩これから成長していきたくです。(これからも練習などいろいろとがんばってください。)

筑邦西中  
平 島 梨 杏

9月1日に車いすバスケットの応えんに行

達がしているバスケットとは全くちがったで

きました。車いすの高さでしようじょうが軽

す。

い重いなどが分かるようにしてありました。

もし私が事故にあったりして足がうごかな

車いすバスケットは見た事はなくてどうやっ

くなったら私は車いすバスケットはできない

てシュートをうつのか分かりませんでした。

と思います。周りの人から自分はしょう害者

実際に車いすバスケットの応えんをした時と

とか言われるからできないと思います。でも

でも勢いがすごくてびっくりしました。

車いすバスケットをしている方々はとてもす

シュートはうでの力だけでうっていたり自分

ごいと思いました。

# 【田主丸中学校】



多賀 勇騎



円山 愛海



椋島 晶乃



中川 竜太



田主丸中  
椛 島 晶 乃

今日の感想は一言で言うと、楽しすぎた一

と言っていました。見ていて、とつても気持ち

日でした。バスケットについて色々学べて、楽し

ちよかったです。山口オーシャンズの7番の

かったって言うのもあるし、体験をしてみて

方は最初怖いなーとか思っていたけど一緒に

楽しかったっていうのもあります。車イスバ

プレーしてみると、すごく優しい人で、あ、

スケで学んだことは、人間関係です。山口オー

やっぱり上手な人はみんな優しいなーと思い

シャンズの方々は、自分たちのシューとが入

ました。車イスを操作するのはめっちゃむず

ればみんな嬉び笑顔になっていました。誰

かしかつたけど楽しくできたのでよかったです

かがミスしても笑顔で

す。また機会があれば行きたいです。

「ドンマイ、ドンマイ」

中丸主田  
杜 真 武 国

車椅子バスケットボールの見学をしに行く

前日からいつもまよいながら、試合を応援し

前は、どんなふうにドリブルをするんだろう、

ていました。試合がおわる少し前に、女子バ

どんなふうにシュートをするんだろうと、今

スケや、チームメイトから、どう、車いすバ

までバスケットを始めてから思っていました。そ

スケやってみようといわれて、少しやってみ

して、車いすバスケットを見学すると、動かすの

ようという気になって、やってみると、最初

むずかしそうだなとか、シュートを打って、

はむずかしかったけど、なれると、とても楽

あの高さでとどくのかなと思って、試合を見

しかったです。車いすバスケットを見学をして、

ていました。すると、とつぜん、車いすと車

いい経験ができました。本当にありがとうございました。

いすがぶつかって、とてもはげしい試合だな

ございました。

と思い、車いすバスケットの体験をしようかなと、

田主丸中  
佐藤里咲

私が車いすバスケットをして思ったことは、「助

「どんまい！次、次！」

け合いが大事」だと思いました。それは、し

と明るく言っていました。でも、優しいだけ

ていて思ったし、みても思ったからです。車

ではなく、ときには厳しく言っていました。

いすバスケットを見ていると、転倒した人がいた

自分も中学校のプレー中には、「優しく、

ら対戦相手のチームでも自分の車いすを使っ

厳しく」していきたくと思いました。車いす

て立つのを手伝っていました。

バスケットには、私が学べるのがたくさんあり

次に思ったことは、全員が「優しく、厳しい」

ました。今年も見に行けて良い経験になりま

と思いました。チームで失敗した人がいたら

した。

優しく

田主丸中  
松下純也

僕は車いすバスケットを生で見たのは初めてで

した。一度テレビで車いすバスケットを見たこと

があつて、ぶつかつて、「ガシャン」つてなつ

てたから、

「こんなにあぶつかるとか。車いすのほうが接

触するの多いし、難しそうだなあ。」

と思つていて、実際に見てみるとやっぱりぶ

つかるし、テレビで見るよりも迫力が

あつておもしろかったです。そして自分で実

際に体験してみると、バスケットをするのはおろ

か車いすをこぐのすらままなりませんし

た。こげたとしても速くこげないし、思い通

りに動けず、思ったところに行けませんでし

た。でも選手の方たちは速くこいで、パスを

回せて、シュートも決めていたので改めて

「すごいなあ。」

と思いました。

田主丸中

## 真 弓 結 衣

私は今日、車いすバスケの大会に行きました。そこで、いろいろな事を感じました。

レイヤーとして、人として、すごく尊敬しました。

大会で感じた事の一つ目は、開会式での、

私は今日、大会に行つて、車いすバスケの

「失つたものを数えるな。残っている物を最

選手の方々を見て、私が試合をしている所を

大限に生かせ。」という言葉です。

見てもらい、バスケのプレイヤーとして、人

会場にいた、選手の方々はこれをずっとし

として、観客の人に尊敬されるようなバスケ

てきたんだ。どんなに苦しくても努力してき

をしていきたいと思いました。この目標を達

たんだと感じました。

成するために一日一日、練習をがんばってい

二つ目は、選手が相手チームに声をかけ

きます。

合つて、笑顔で試合をしている所を見て、プ

田主丸中  
千代田 妃菜多

車いすバスケットボールを見学して、昨年

少しだけ車いすバスケの体験をしました。

も見に行ったから今年で2回目でした。私た

実際に体験するのは初めてでした。初めは、

ち田主丸中学校のバスケ部は、山口のチーム

難しそうだなと思っていたけど、やってみる

を応援しました。試合をゴールの下くらいで

ととてもおもしろいし、楽しかったです。で

近くで見ることが出来ました。すると、タイ

もやっぱり難しかったので、みんなすごいな

ヤの焦げたにおいがしてきました。だから、

と思いました。遠くからのシュートが入った

見ているだけでも激しいのにおいからも激

り、とても速くこいだりすごいなと思いまし

しいスポーツだと伝わってきました。同じ年

た。

の子とかも車いすバスケをしている人がいた

これからも頑張ってほしいです。

から、すごいなと思いました。

田主丸中  
中野大和

今回、初めて車いすバスケットを観たり応援しました。

僕は、車いすバスケットのルールを全く知らない

かったけど先ばいに少し聞き分かっていなかったけど先ばいに少し聞き分かってないな  
になっていたけど説明を見て全くわかってない  
かと思いましたが、バスケットとは少し違う  
ルールでした。

また、試合を観て、とてもうでの筋肉がすごいな  
ーと思いました。そして、スピードが  
でていたり、車いすがドンドンと当たって

て、転んだ人や転びそうな人が出ていました。

バスケットと同じでラフプレイが多くなりました。  
た。

ぼくは、立ってゴールにシュートしてもあまり入らないのに車いすバスケットの選手のみな  
さんはすわった状態で入っていたのでとても  
すごいなあと思いつつ観ていました。

車いすバスケットは、普通のバスケットとはちがう  
おもしろさがありました。

次、機会があったらいきたいです。

田主丸中  
内 山 愛 海

今日、車いすバスケットを見に行きました。ま

感動しました。車いすにもかかわらず、ふつ

ず会場が広くて、新築のにおいがしました。

うのバスケット並に迫力があって、白の七番？が

私たちは、一試合目と三試合目の応えんで

かつこよかったことを覚えています。

した。試合中どちらかのチームの選手がたお

障がいがある人もない人もみんなが楽しめ

れてしまったときに、敵や味方関係なく、協

る車いすバスケットボールは、すばらしい、

力して支えていて、その助け合う姿にとても

スポーツだとおもいました。



田主丸中  
板谷美緒

私は、二回目の車いすバスケットボールを

ことじゃないなと思いました。

みての感想は、すごいなと思ったし、尊敬を

そして、試合中のプレー中するときにも注目

しました。

しました。

なぜなら、一人の車いすの選手がたおれた

試合中は、真剣にやっていたけど、少しミ

ら、周りはいらんふりをせずに、自分のチー

スをした時とかも、ミスをした人があやまっ

ムだけじゃなく、ほかのチームどうして手助

たら、笑顔で全然いいよみたいなあかるいふ

けをしていた。だから、これを見て、私は、

んいきだったし声をかけあう声などが大きく

相手や知らない人を手助けするのは、わるい

て、私もまねをしようと思いました。

田主丸中  
野 上 美 愛

車いすバスケットボールを見て、私は、体が不自由でも、スポーツは、だれでもできる

いくらい、上手だったので、すごいなと思いました。

んだなと思いました。昨年も、見たけれど、

私は、試合の中で、印象に残ったところが

今年、車いすバスケットを見て、あらためて、思

あります。それは、車いすが倒れてしまった

いました。そう思った理由は、試合をしてい

時です。ある選手が倒れておきあがれなく

る選手が、体が不自由だからです。

なっているとところに敵の選手が助けにいつて

私は、昨年、初めて、車いすバスケットを見ま

いたので私は、敵、味方、関係なくプレーし

した。その時、私は、選手を見て、本当にバ

ているところがいいなと思いました。

スケできるのかなと思っていたけれど、実際

私は、今回、たくさんのことを学んだので、

に試合を見ると、不自由なのが、感じられな

このことを、次に生かしていきたいです。

# 【北野中学校】



黒岩 大空



小江 潤



田川 咲衣



堀内 千尋

北野中  
猪口永裕

ぼくは、車いすバスケットを見に行きとても難

し車いすバスケットをはっている選手を見てたくさ

しそうだと思います。理由は、足が不自由

んの人にささえられていると思いました。そ

で思い通りに動かず、車いすを自由に動かし

れは、一人ひとりが仲間を信じていて、得点

ていたのが難しそうでそれまでにいろいろな

を入れるとても喜んでいたのでからです。この

経験を重ねてきたと思いました。二年の先輩

ことから自分が成長するには、いろいろな人

達が車いすの体験をしているのを見て。前に

の支えがあると思いました。障害があっても

進まなかったり相手にボールをとられてもど

明るく楽しく前向きにがんばっている姿に勇

りたいたいのにもどれずにいたりシュートがとど

気をもらいました。

かなかったりでとても大変そうでした。しか

北野中  
榎 原 源 樹

僕は、9月に部員の仲間と車椅子バスケット

僕は、この光景を見て改めて、スポーツに

観覧しに行きました。

はすごい力があり、スポーツから学ぶことは、

僕は、とても印象に残っている出来事があ

たくさんあると考えさせられました。そし

ります。それは、ボールの取り合いで片方の

て、バスケットなどのチームプレイのスポーツの

選手が転倒してしまった時のことです。試合

すばらしさを知ることができました。

中にもかかわらず転倒させてしまった相手

このような、すばらしい経験を部活動であ

チームの人が手をさしだして、起き上がる手

るバスケットや生活に活かしたいです。とてもい

助けをしていました。起き上がるとお互い笑

い経験になりました。

顔で話していました。

## 【牟田山中学校】



田村 桃子



濱崎 ことみ

# 【良山中学校】



箴島 光瑠

良山中  
井上 寿岐也

車いすバスケットボールを体験して、僕は体験していないけれど、観戦をしました。

普通のバスケットボールとは、また違う勢

いがあったし、すごい迫力でした。車いすバ

スケットボール選手は、辛いことや苦しい事

もあるんだろうと思いました。実際に間近で

見てみて、すごい難しさが伝わってきました。

もし、また会える機会があったら教えても

らいたいと思いました。そして、3ポイント

やショットを入れる時は、腕の筋肉を使うだ

ろうと思いました。でも、練習とかでもすご

い頑張ってるんだという事が、すごく伝わっ

てきました。

あんな風に活躍している姿も、カッコイイ

と思うし、堂々としているし、勇ましくてす

ごいと思いました。すごくいい体験になった

と思いました。



良山中  
江口夢翔

僕は車椅子バスケットを体験したり見たり

たくつけないし、シュートをうってものはいい

して思ったことがあります。

ませんでした。

車椅子バスケットを見て、選手の方のプ

僕は車椅子バスケットはとてもむずかしく

レーがすごかったことです。腕の力でスリー

ルールもむずかしいということがわかりまし

ポイントラインからシュートをうってとどい

た。見たり、応援したり、体験したりして楽

ていたのですがとても筋肉や力があるんだなあと

しかかったです。そして、良い勉強にもなりま

思いました。

した。僕もシュートをとおくにとばせるよう

車椅子バスケットを実際に体験して、思ったよ

にしたいです。本当に良い機会でした。また

うになかなかうまくいかず、ドリブルはまっ

したいです。

良山中  
佐藤 優

僕が、車いすバスケットを見て感じたことは、

のに、ゴールまでとどいていることがすごい

二つあります。一つ目は、車いすバスケットを

と思いました。ディフェンスもぶつかったり

やっているのを見て難しそうだと思いますし

してとてもすごいと思いました。一番すごい

た。車いすでは動くのも難しそうだし、シュー

と思ったのは、ゴール下でのリバウンドです。

トを打つのも難しそうだと思います。だから

みんなぶつかって、ボールをとろうとしてい

ら大人の人たちは車いすでバスケットをしていて

るのがすごいと思いました。

すごいと思いました。二つ目は、車いすバス

ケットを見てみんなしにくいのにで

ケットをしている人たちはバスケットが上手だと思

きているというところがとてもすごいと思

ました。シュートも足が使うことができない

ました。

良山中  
中 村 詞 穂

初めて車いすバスケットを近くで見て、実

には、負けてしまったけれど、とてもいい経

際にやりました。最初は、なかなかコツがつ

験ができたのでよかったです。

かめず、へんなところに行っていたけれど、

その次にプロの人たちの試合をみました。

選手の方にやり方をおしえてもらって、最初

とても迫力があり、スゴかったです。途中で

よりはコツがつかめやつとまっすぐ前にすす

倒れてしまった選手もいたけれど、チームの

めるようになりました。

仲間の人たちが助けていたので優しいなあと

次に試合をしました。みんなぼくと同じぐ

思いました。

らしいの車いすさばきだったので、勝てるかな

本当にありがとうございました。

と思ったけれど、負けてしまいました。試合

良山中  
野田 琉 成

ぼくが車イスバスケットボールを見て思っ

ないので難しいと思います。普通バスケット

たことは普通のバスケットボールとちがっ

ボールのルールが車イスバスケットボールで

て、とても動きづらいと思います。普通のバ

は分からなくなると思うので難しいと思いま

スケットボールではできることが車イスバス

す。プロの方は3ポイントシュートをうでの

ケットボールになるとできないということが

力だけで打ったりしていてとてもすごいと思

あると思います。その1つとしてシュートで

いました。僕は車イスバスケットボールの試

す。普通のバスケットボールは足を使って

合に出られなかったので、次の機会に試合に

シュート打てるけれど、車イスバスケット

でてみたいと思いました。

ボールでは、うでの力でしかシュートをでき

良山中  
有 富 陽 都

車イスバスケットを見て、色んな年齢層の方々

がやっているのだなあと思いました。それに、

車イスを近くで見ると、色んなところで

使われている車イスとは違い、バスケット用の車

イスは、タイヤがハの字になっています。そ

れにより普段使われている車イスよりも、旋

回能力が増したり、高速でも転倒することな

くターンが可能になったりします。

それに、車イスのルールを知った時自分が

やったら、ごっちゃごちゃになると思います。

大きな違いは、トラベリングです。車イスを

二こぎしたら一回ボール着くことが必要にな

ります。三こぎしてしまったら、シューとか

見方にパスを出さないといけません。自分が

やったら一直線で、ドリブルをつかずにその

まま行きそうです。

また、見てみたいと言う気持ちになりました。

た。

良山中  
兒 玉 結 音

始めて車いすバスケットを見ました。見ている

イアアップも力加減の調整が難しく入りませ

ときはレイアアップは簡単だろうとかミドル

んでした。また車イスバスケットをする機会があ

シュートと3Pシュートは難しいだろうなど

ればドリブルやレイアアップシュートを練習し

思いました。車いすを自由に操る姿を見て、

て少しぐらいは上手くなりたいです。車イス

憧れを持ちました。次にルールを見ると、車

バスケットだけでなく普通のバスケットももっと上手

いすにも種類があつて難しいと感じました。

くなつていききたいです。他にもルールなどを

そして、いざやってみると、思っていた以上

くわしく知って自分のチームを作ったり、選

に難しく普通のバスケットと全く違うスポーツに

手になつてみたいとも思いました。とても楽

感じました。車いすバスケットではドリブルもま

しい車いすバスケットでした。

ともにつけず大変でした。簡単だと思つたレ

良山中  
箴 島 光 瑠

ぼくは、実際に車いすバスケットボールの試合を観させていただいて、あまり観なれない動きをするバスケットの世界なのでとても迫力がありました。昨年観させていただいたときに、実際に車いすバスケットを体験させていただきました。車いすバスケットをする以前に、車いすの乗り方も難しくして左右に曲がることができませんでした。しかし、選手の方にアドバイスをいただいてどうにか乗れるようになったのでとてもうれしかったで

す。いざ試合となってやってみるとどうすればいいのかもわからず、ボールがきて、シュートを打つても力が足りずリングにとどきませんでした。プロの方々の試合を観ているとパスの展開がはやかったり、シュートを打つときは体全体を使ってとばすなど、僕たちにとっての課題もこなせているので、もう一度課題を見直すこともでき、試合も観せていただいて、多くのことを学びました。ありがとうございました。

## 【屏水中学校】



宮崎 桜



松村 遥





屏水中

松 村 遥

今日久留米アリーナにて、りんどう杯車い

すバスケットボール大会を見に行きました。

私は、車いすバスケットをテレビでしか見た

ことがなかったので、とてもワクワクしてい

ました。試合を見るとみんなオフエンスを中

に入れないように車いすできっちりガードし

ていたし、もどりも早くて自由自在に動かし

ていたのでとてもすごいと思いました。実際

に体育館で、イスに座ってフリースローライ

ンや近くなどで打つてみるとぜんぜんゴール

にとどかなくて、何回やってもシュートが入

らなくて、とても難しかったです。でも、選

手の人たちはふつうに軽々シュートを打って

いたので、力があつてすごいなあと思いまし

た。

最後に今回の車いすバスケットボール大会

を見て、努力することの大切さ、あきらめな

いということの大切さをあらためて感じまし

た。



屏水中  
田 中 美衣菜

今日は初めて生で車いすバスケットボール  
を見ました。思っていたよりスピードがあつ  
たし、難しそうでした。試合の中で印象に残つ  
たことはフリースローと、車いすで倒れた選  
手を起こすところです。フリースローでは打  
ち方が人それぞれで片手で投げる選手や、う  
での力だけで打っている選手などを見て、選  
手一人ひとりの個性が出ているところがいい  
と思いました。また、試合中に車いすで倒れ  
た選手を起こしてあげる姿は特に印象的でし

た。しかも起こしてあげる選手の中には、自  
分が転ばせたわけでもない相手チームの選手  
を手助けしている人もいて、とてもいい雰囲気  
気だと思いました。そして試合が終わったあ  
とは、勝ったチームも負けたチームも審判や  
試合に関わった人、同じチームの選手とハイ  
タッチをして笑顔で終わっていました。今日  
は普段のバスケットボールと車いすバスケット  
ボールの違うところや、車いすバスケット  
ボールの良いところを知れてよかったです。

## あとがき

平成三十年九月一日、二日の二日間に渡り、久留米りんどうライオンズクラブ、ちくご菜の花ライオンズクラブとの共同事業として、「第三十五回りんどう杯車いすバスケットボール西日本大会」が熱戦、盛会の内に無事閉会を迎える事ができました。

久留米市バスケットボール協会を始め、ご協力いただきましたたくさんの方々や企業関係者各位に心より御礼申し上げます。

応援に駆けつけてくれた市内の中学校の生徒さんたちの大きな声援は大いに選手に励みになったに違いありません。また交流試合に参加した生徒の皆さんは車いすバスケットボー

ルの難しさ、大変さが解っていただけたのではないかと思えます。

生徒の皆さんのメッセージ、生徒の皆さんの感動の言葉を文集として残せた事を心より感謝いたしますと共に、これからも久留米りんどうライオンズクラブ、ちくご菜の花ライオンズクラブの共同事業としてこの大会を継続し、青少年健全育成の一助となれば幸いです。ごさいます。

久留米りんどうライオンズクラブ

社会福祉・青少年育成委員長

広瀬 泰博

ちくご菜の花ライオンズクラブ

車いす委員長

坂口 ふみ子

- 主 催／久留米りんどうライオンズクラブ  
ちくご菜の花ライオンズクラブ
- 共 催／久留米市  
久留米市教育委員会  
久留米市バスケットボール協会  
(公財)久留米市体育協会
- 後 援／福岡県  
福岡県教育委員会  
久留米市社会福祉協議会  
九州車椅子バスケットボール連盟  
(公財)久留米観光コンベンション国際交流協会
- 協 賛／株式会社 関家具  
明治安田生命保険相互会社 久留米支社  
国際医療福祉大学・高邦会グループ  
株式会社 梅の花  
日本食品 株式会社  
医療法人柳育会 柳病院  
渡辺プロパンガス 株式会社  
日商保険コンサルティング 株式会社  
学校法人 合川学園  
有限会社 さくら警備保障  
株式会社 モルテン

**第35回「車いすバスケットボール西日本大会」感想文集**

発 行 日 平成31年1月31日

発行責任者 久留米りんどうライオンズクラブ  
車いすバスケットボール大会実行委員会  
久留米市城南町15-5商工会館内  
TEL0942-38-5991

編 集 広告企画スタジオギズモ



**久留米りんどうライオンズクラブ**  
ホームページ  
<http://www2.ktarn.or.jp/~rindolions>



**ちくご菜の花ライオンズクラブ**  
ホームページ  
<https://www.e-clubhouse.org/sites/chikugon>

四季折々の自然を愛でる、心をつくしたおもてなし



※写真は全てイメージです。

お問い合わせ・ご予約は下記へお問い合わせください。

梅の花 久留米店 ☎0120-36-1423

久留米市東町40-7

梅の花 大善寺店 ☎0120-41-6860

久留米市大善寺町黒田6-1

花小梅 久留米店(釜めしの店) ☎0942-46-0275

久留米市城南町10-24 久留米市役所近く

チャイナ梅の花 久留米店 ☎0120-68-7870

久留米市城南町5-26 プリヂェストン前

かにしげ 久留米店 ☎0120-38-6782

久留米市柳原町10-5

梅の花工場直売店 ☎0942-22-8782

久留米市野中町1357-8

安全・安心、自然との共存を基本に  
食卓へ＜美味しさと感動＞をお届けします

＜本 社＞

福岡県古賀市青柳3272-6

☎ 092-942-6100 FAX 092-942-6107

＜油脂事業部＞

福岡県福岡市東区箱崎7-9-58

☎ 092-651-6466 FAX 092-633-6491

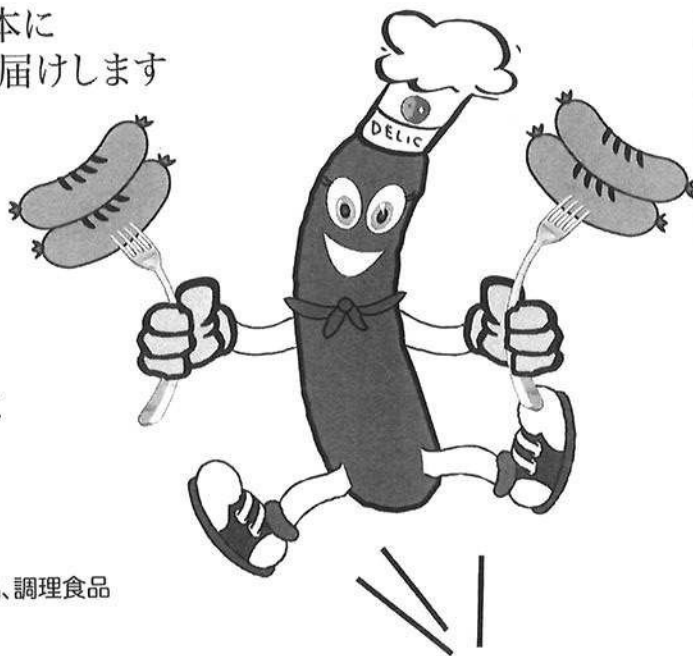
◆ 日本食品株式会社

代表取締役社長 柿本 憲治

業務内容

内外畜産物、ハム・ソーセージ、パック肉製品、調理食品

ラード、ヘット、馬油化粧品などの製造販売



おいしい食卓、はじける笑顔！

医療法人 柳育会

# 柳病院

消化器外科・消化器内科・他  
国道3号沿い 八女市吉田2-1



社会福祉法人 柳育福祉会

# 鐘の鳴る丘

経費老人ホーム (ケアハウス)  
八女郡広川町六田 348-1

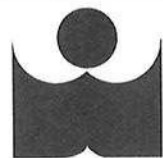


 柳育会グループ

柳育会

検索 

設備機器・工業用・業務用  
プロパン冷暖房設備・オートガス



# 渡辺プロパンガス(株)

代表取締役 渡辺 精一

久留米市野中町1288 (市場通り)

【本 社】TEL 0942-32-8291(代)

【オートガス】TEL 0942-35-7545



molten®  
For the real game

*For the real game*

「プレーヤーの技術や意志が100%発揮される時、スポーツは本物になる」

私たちモルテン・ブランドは、この信念をもとに  
ボールとスポーツエキップメント・メーカーとして  
常に完璧な製品づくりを目指しています。

www.molten.co.jp

学校法人 合川学園  
幼保連携型 認定こども園

# 合川幼稚園

理事長兼園長 江頭 渡

久留米市合川町502-1 ☎(0942)43-3997

従業員募集

(有)さくら警備保障

取締役 坂本 卓美

〒839-0809

久留米市東合川 2-5-15RE ステートビル 101

☎0942-45-1733 ☎0942-45-1735

りんどう杯 車いすバスケットボール  
西日本大会を応援しています

 **日商保険コンサルティング株式会社**

本社/久留米市通町 6-17 TEL / 0942-34-3311

営業拠点/久留米・福岡・東京・大阪



第35回

りんどう杯車いすバスケットボール  
**西日本大会**

久留米りんどう

ライオンズクラブ

ちくご菜の花

ライオンズクラブ



全国に6キャンパス10学部・24学科を擁する医療福祉の総合大学です  
**国際医療福祉大学**



大川キャンパス



福岡キャンパス

豊富な関連施設・福祉施設を併設

**大川キャンパス [福岡保健医療学部]**

理学療法学科 定員80名 作業療法学科 定員40名

言語聴覚学科 定員40名 医学検査学科 定員80名

〒831-8501 福岡県大川市榎津137-1

大川キャンパスに **2020年4月、薬学部 開設予定** (設置構想中)

博多湾を望む臨海副都心に大学・医療施設を集約

**福岡キャンパス [福岡看護学部]**

看護学科 定員100名

〒814-0001 福岡市早良区百道浜1-7-4

大田原キャンパス (栃木県) [保健医療学部] [医療福祉学部] [薬学部]  
東京赤坂キャンパス (東京都) [赤坂心理・医療福祉マネジメント学部]

成田キャンパス (千葉県) [医学部] [成田看護学部] [成田保健医療学部]  
小田原キャンパス (神奈川県) [小田原保健医療学部]

お問い合わせ先 学校法人 国際医療福祉大学 九州地区 入試事務室

TEL 0944-89-2000

URL <http://fukuoka.iuhw.ac.jp/>

FAX 0944-89-2001

E-mail [kyushu-nyushi@iuhw.ac.jp](mailto:kyushu-nyushi@iuhw.ac.jp)



「アジアの玄関口」シーサイドももちに  
高度なりハビリテーション教育を総合的に学べる大学が開学します

**福岡国際医療福祉大学** (仮称) **2019年4月、誕生**  
(設置認可申請中)

**医療学部**

理学療法学科 定員40名 作業療法学科 定員40名

視能訓練学科 定員40名

同時開設

言語聴覚専攻科 定員40名 ※2年課程/昼間部(指定学校申請中)

■出願資格: 4年制大学を卒業または卒業見込みの方(学部・専門分野は不問)

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3-6-40



お問い合わせ先 学校法人 高木学園 大学設置準備室

TEL 092-832-1200

URL <http://fiuhw.takagigakuen.ac.jp/>

FAX 092-832-1167

E-mail [nyushi@takagigakuen.ac.jp](mailto:nyushi@takagigakuen.ac.jp)



 ATELIER  
MOKUBA  
SEKI FURNITURE CO., LTD.

大川ギャラリー

831-0033 福岡県大川市幡保172-3  
関家具大川本店内  
TEL 0944-88-0108  
営業時間/AM10:00~PM6:00

天神ギャラリー

810-0021 福岡県福岡市中央区今泉1-2-30  
天神プレイスEAST 1F  
TEL 092-717-8500  
営業時間/AM11:00~PM7:00

博多ギャラリー

812-0018 福岡県福岡市博多区住吉2-1-1  
パークアクセス博多 1F・2F  
TEL 092-283-3126  
営業時間/AM11:00~PM7:00

青山 | 新宿 | 五反田 | 吉祥寺 | 横浜 | 名古屋 | 大阪 | 神戸

総関家具 831-0033 福岡県大川市幡保201-1 <https://mokuba.co.jp/>

